

南あわじ市消防団の活動実態調査

アンケート結果すべて掲載したもの※自由記述含む

令和4年2月4日作成
南あわじ市危機管理課

■消防団に関するアンケート調査

南あわじ市消防団の取り巻く環境について現状や課題を共有し、今後、消防力を維持しつつ団員の負担軽減につなげていくためアンケート調査を実施しました。

・調査期間 令和3年8月25日～9月26日

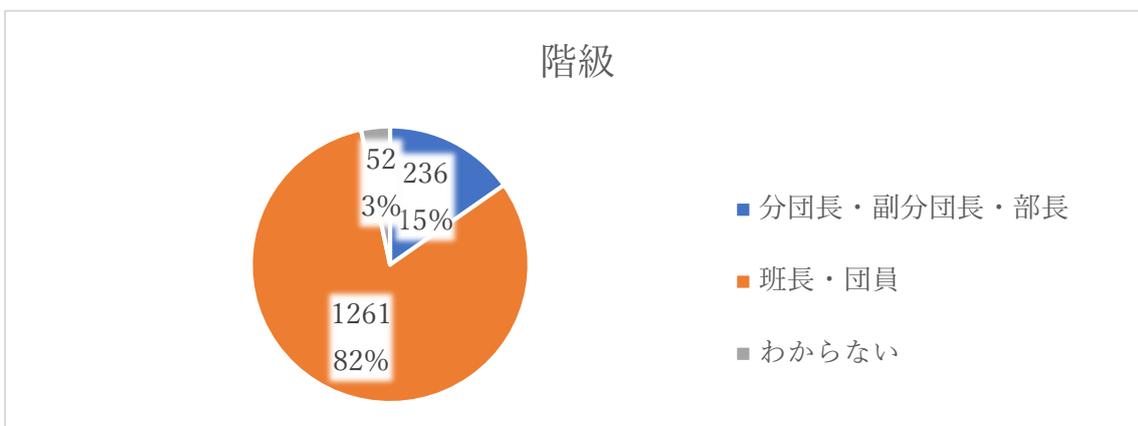
・対象 男性消防団員2,155人

・回答数 1,549人

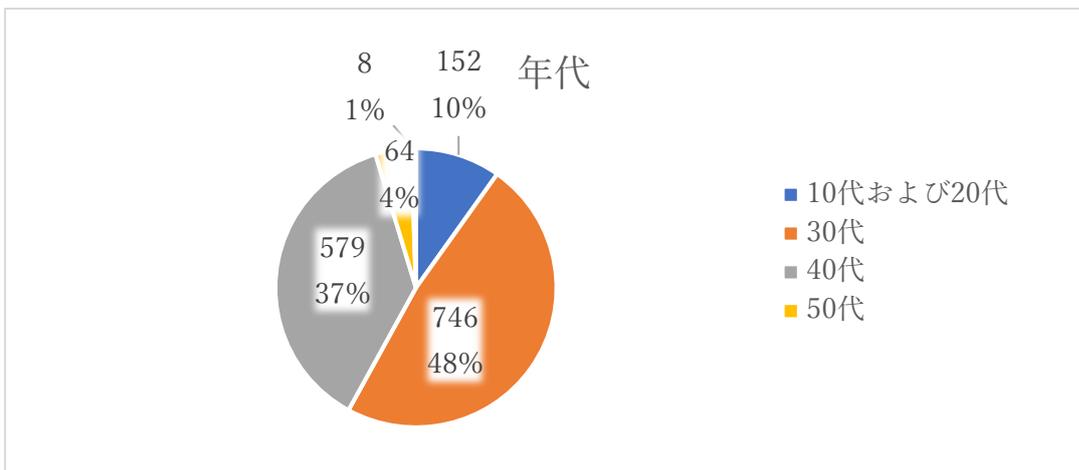
・回答率 71.8%

【問 1】 所属分団を教えてください（回答省略）

【問 2】 階級を選んでください

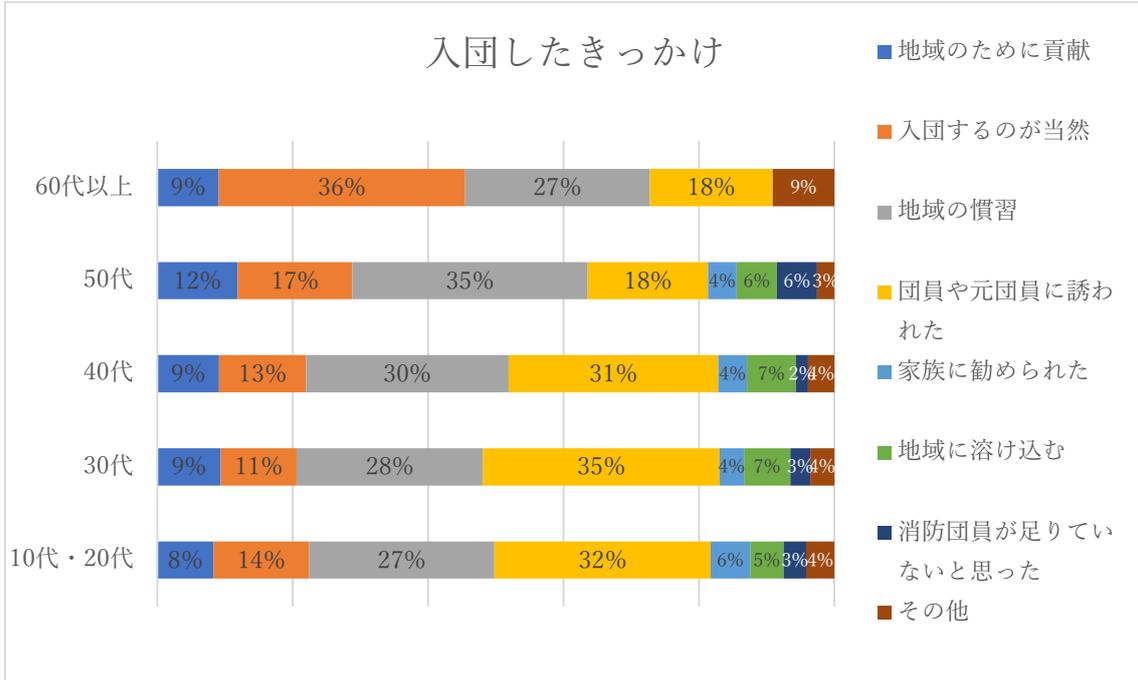


【問 3】 あなたの年代を教えてください。



【問 4】 入団したきっかけは何ですか。

回答	回答数 (A)	A/1,549 人	割合
地域のために貢献したいから	233	15%	9%
入団するのが当然だから	314	20%	13%
地域の慣習だから	722	47%	29%
団員や元団員に誘われたから	809	52%	32%
家族に勧められたから	103	7%	4%
地域に溶け込むきっかけとなるから	169	11%	7%
地域で消防団員が足りていないと思った	67	4%	3%
その他	93	6%	4%

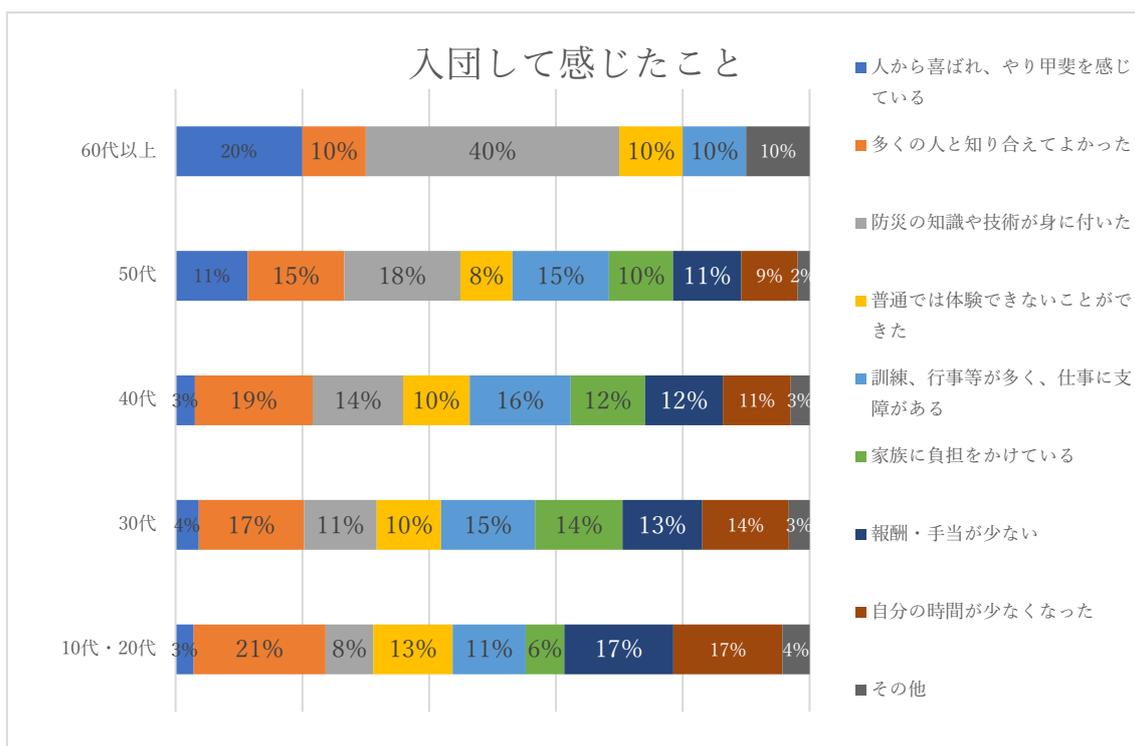


その他の意見

人が少ないからほぼ無理やり入る流れになった。親が入っていたから強制的に入らされた。親が入れ替わりでないと退団できないと言われたから。
仕方なく入団した。
入らないとその地域に住めないという感じだったから
入らざるを得ない雰囲気だったから。
入らないという選択肢を無くされた。仕方なく入った。
気づいたら入団していた。
名前だけでも書いてと頼まれて書いたのがきっかけ。
勧誘してきて明確な返答しなかったら、いつの間にか入団させられてた。
地元に残っているから入団してほしいと言われた。
地元に住んでる以上入らないといけないから。
声がかかったから。
団員や元団員が何度も家に勧誘に来てうるさかったから
時期が来たら入団は当たり前やから
家の敷地内の火事を消してくれたから。
地域に最低限の団員の定員数が決められており、数合わせのため入らざる終えなかった。
仕事の異動。
祭礼団の延長。
広域消防が来ることができない地域のため、自主的に防災活動を行う必要性を感じた。

【問 5】 入団して感じたことは何ですか。

回答	回答数 (A)	A/1,549 人	割合
地域の人から喜ばれ、やり甲斐を感じている	133	9%	4%
多くの人と知り合えてよかった	624	40%	18%
防災の知識や技術が身に付いた	448	29%	13%
普通では体験できないことができた	368	24%	10%
訓練、行事等が多く、本業の仕事に支障がある	531	34%	15%
消防団に入って、家族に負担をかけている	431	28%	12%
報酬・手当が少ない	451	29%	13%
自分の時間が少なくなった	444	29%	13%
その他	113	7%	3%



その他の意見

年末警戒と操法大会などがあるから最近の若い子たちが普通に断って入団してくれない。先輩達は 40 歳になる前に退団出来たのに退団がいつになるかわからない。

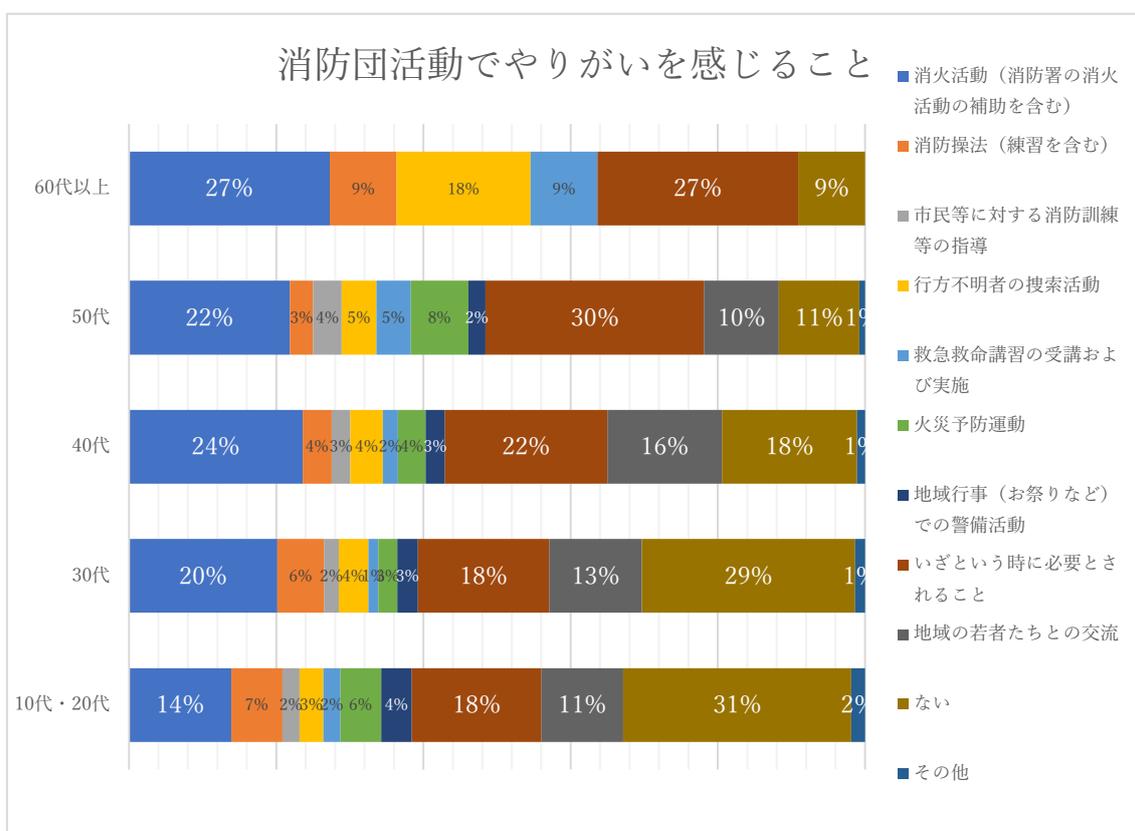
無駄な活動が多すぎる。農繁期に何を考えて操法大会を開催しようと考えているのか。南あわじ市の主要産業は何か。主要作物は何か。本団、市役所はよく考えるべき。あなたたちのおかげで農家をしようとする若者が減る。

<p>人数が足りている地区と足りてない地区の差がありすぎて、不公平感を感じる事が多かった。</p>
<p>昔からその地域に住む住民が入団すべきであり、それを前提とした組織運営がなされている。そのため都会からの移住者が受け入れられるほどの文化でない組織であることが明確にわかった。これはどの分団であろうと変わらない。職場なら毎日顔を合わせるが、こちらはそうでは無い。そのためそもそも会話が噛み合わないとなると、年に数回しか合わない人と関係を築くことも無い。入団すべきではなかったと後悔しているが、決まりなので辞めさせることはできないと会話できない状況が続いている。</p>
<p>正当な理由なく行事参加を強いられる。必要のない訓練、行事が多い。</p>
<p>良いことも悪いこともトントン。</p>
<p>消防活動が大好きな他の方面隊に合わせないといけないと言う事で、活動が年々増やされて負担になっている。</p>
<p>仕事がカレンダー通りの休みでないのと、朝早い勤務や夜勤があるので仕事に支障が出る時がある。</p>
<p>好きでやってるわけではなく、仕事でもないのになぜ怒られるかわからない。</p>
<p>操法の大会は必要なのか。それに向けて練習時間を作るのは難しい。操法の練習は負担が大きい。</p>
<p>報酬手当が少なく若い人が少なすぎ。幽霊団員が多すぎ。</p>
<p>仕事を休んで参加しないといけない行事がある。報酬を時給制にして欲しい。</p>
<p>火災があると自営業など地元の地区で働いている人の負担が大きい。仕事を犠牲にしているのに報酬が少ない。土日の火災や災害対応において、公務員は休日手当がつくの団員には一律。出動での怪我や死亡の保証が低すぎる。</p>
<p>地域の年配者は消防団がいて当たり前で、自分たちは何もしなくていい様に思っている。同地域に住んでいない若者が、地元の消防団に属し維持している事を当たり前と思わないでもらいたい。地元の火災ですぐに駆けつける事が出来ない。若い世代だけでは維持出来ない。50代の退団した者はもっと貢献できると思う。操法大会が負担で体力的に団員であり続けることが難しく、退団者が増えていると感じる。</p>
<p>実際に活動する人数が少ないため、操法になると負担が大きい。操法により団員間でもめ事になる事が多いので、在り方を見直すか無くして欲しい。</p>
<p>大会に出る年は、選手の負担、周りの負担が大きすぎる。</p>
<p>自分の時間を差し置いてほぼ全部参加しなければならない、上の階級の人が気の毒。</p>
<p>実際の消防活動や設備点検、台風などの災害時に活動することは必要。地域に貢献したいと思うが、慣例的に行われている行事や操法の大会は不要だと思う。練習をするために平日の仕事後に時間を割かれることは、苦痛でやりがいも感じない。強制的に参加することも疑問を感じる。大会に参加したい分団のみで行う方が良いと思う。仕事でもないのに操法の上手さを競う必要はない。大切なのは有事に何が出来るか。ポンプの使い方等の勉強</p>

<p>会をするだけで十分だと思う。初出式も同じく、年始にわざわざ集まる必要性を感じない。強制的な地域行事の参加は若者が地元を離れる要因のひとつになっているのではないかと感じる。</p>
<p>これだけの人数を動かして税金を使うのであれば、消防士を増やしたほうがいいのでは？素人がいくら頑張っても火事が起きてても何もできない。しっかりとした消防士を育てたほうがいいのではないかと感じる。税金の無駄遣いでしかない。</p>
<p>団員の温度差がすごい。毎回参加する人もいれば、年に一度しか見ない人がいる。</p>
<p>野菜農家は、一日が大切なのに、それを失う悲しさ。</p>
<p>全く意味のない操法に対し、時間を割いていることに理解ができない。避難所運営訓練など意味のある活動をしてほしい。</p>
<p>操法をある程度覚えることは消防車を取り扱う上で重要かもしれないが、操法ばかりに力が入っており、実際の火災にどう対応したら良いか、救急救命講習等など実践的な訓練が抜けている気がする。</p>
<p>操法大会がだんじり唄コンクールの時期と重なるからしんどい。</p>
<p>年末夜警、操法大会、初出式など消防活動、防災活動の訓練に結びつかない行事が多い。</p>
<p>現役世代がどんどん少なくなる中で、消防団員数を維持しなければいけない状況や、消防団という奉仕活動で、行事ごとなどを強制させてくる傲慢さに腹立ちを感じる。</p>
<p>毎年の操法訓練が大変。団員が少ない場合、選手を何回も経験する。新入団員が少ないので、年々退団できる年齢が上がり、なかなか退団できない。</p>
<p>私の職場は、医療現場で当然、夜勤もあり出勤時間が様々。操法の練習は20時頃から練習があり、終わって家に帰る頃に24時を過ぎる。次の日は朝5時起きで仕事に行くこともある。身体を休める時間もなく、正直、退団したい。</p>
<p>仕事おわりで疲れているのに消防訓練で少しミスをしただけで皆の前で怒鳴られた。</p>
<p>火事の恐ろしさを知った。</p>
<p>半ば強制的に入らされたので、入団して良かったことなど一つもない。入団していない人間が何人もいるし、入ってしまうと中々辞められない。不公平感が大きい。</p>
<p>会社員の仕事がフレックス制なので、時間が合わない。</p>
<p>新人団員への活動説明が足りない。</p>

【問6】 消防団活動でやりがいを感じることは何ですか。

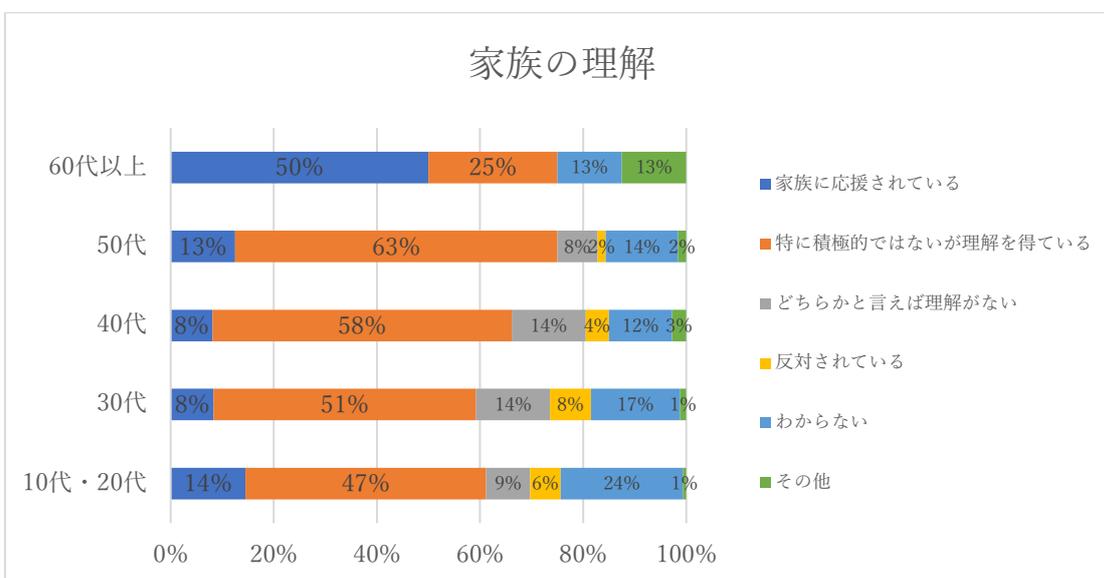
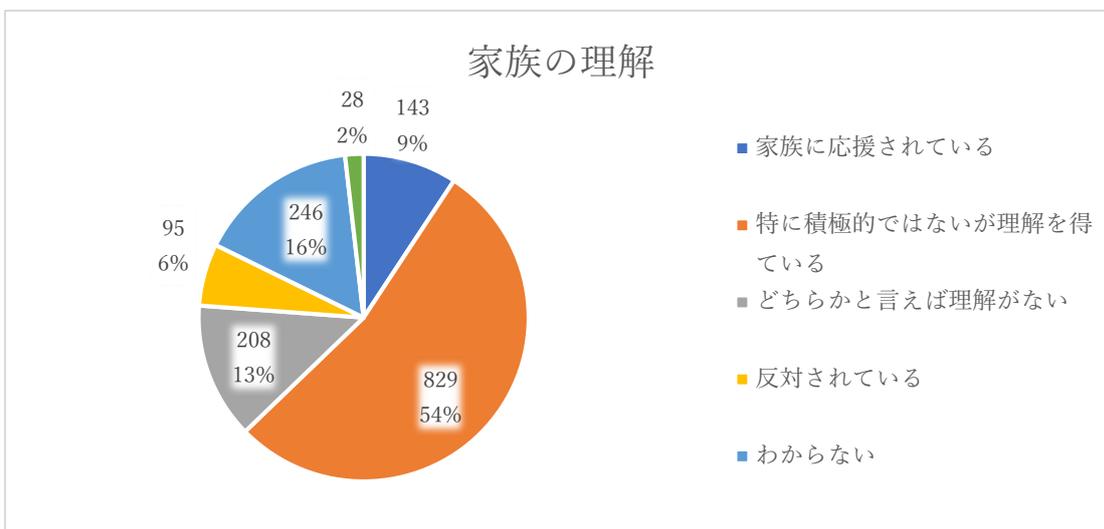
回答	回答数 (A)	A/1,549 人	割合
消火活動（消防署の消火活動の補助を含む）	486	31%	21%
消防操法（練習を含む）	122	8%	5%
市民等に対する消防訓練等の指導	54	3%	2%
行方不明者の搜索活動	97	6%	4%
救急救命講習の受講および実施	45	3%	2%
火災予防運動	83	5%	4%
地域行事（お祭りなど）での警備活動	65	4%	3%
いざという時に必要とされること	466	30%	20%
地域の若者たちとの交流	310	20%	13%
ない	551	36%	24%
その他	29	2%	1%



その他の意見

消防にやりがいを求めること自体ナンセンス。
台風等の水害が出ない様に取り組む。
やりがいはないが、団として入っている以上しなければならないという意識のみ。その意識を感じたとき、負担に感じることもある。
わからない。
水防指令時の活動。
地域の人と知り合いになり、仲良くなれる事は大事だと思う。
消防車や機械器具の維持管理。
勤続年数が長くなるにつれて重荷に感じている。

【問 7】 消防団活動における家族の理解はありますか。

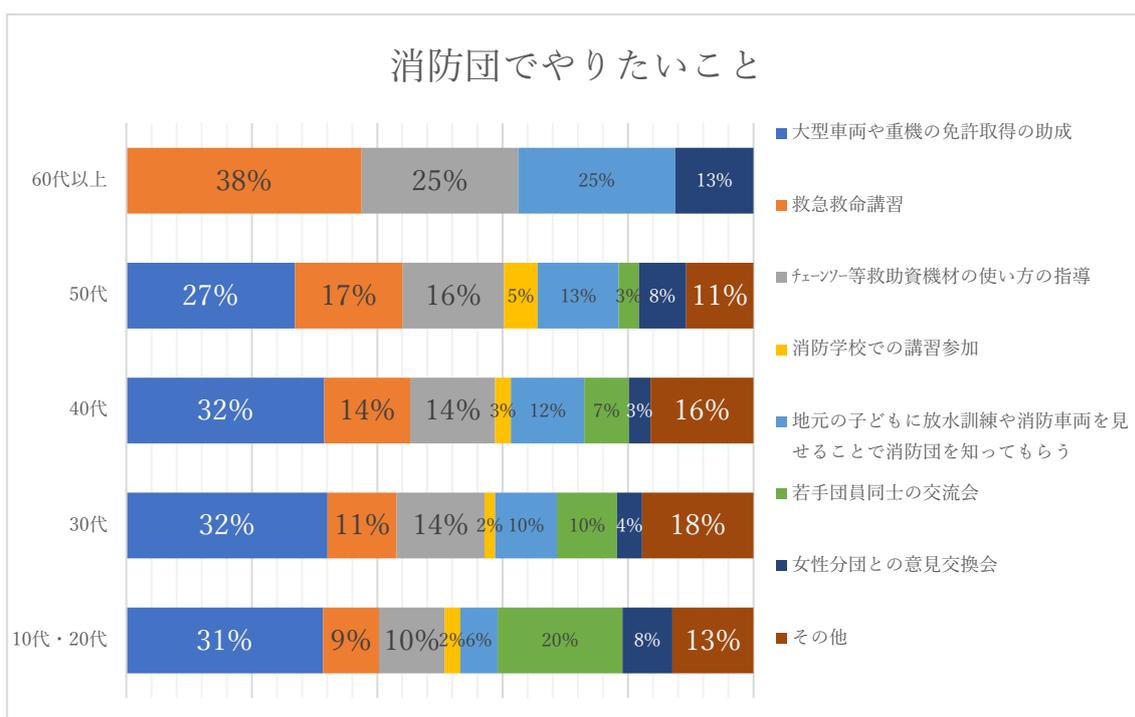


その他の意見

夫婦と子どもの3人暮らし。年末警戒で家族2人をおいていくほうが、家族には危険であるとする。
消火活動や操法活動等、家族の理解の有無に関わらず参加しなければならない。
小さい子供の面倒を見ないといけない時に行事の参加や消火、災害活動(台風)に出動しなければならない事があるので、その時は反対されている。
無関心。あきらめられている。
操法の大会、訓練以外はしぶしぶ納得している。
父親だけ理解している。
退団した者は防災意識が低いとも感じる。子育て世代が働く世代であり消防団員である。仕事と子育てで時間がなく参加できないことも多い。子育てを終えた世代が地元の消防防災活動を何もしないのはおかしいと感じる。
持病持ちで団活動することは家族も心配している。やはり仕事が一番優先だから。
後継者が入ってくる見込みがなく、50代でも退団出来ないのでは家族の理解なし。
入るのが当然だという認識。
ポンプ車よりも消火器を各家庭に配布する方が効率良いのではないかと言われた事がある。
家族も地元の人も団活動するのが当たり前と思っている。
核家族では唯一の男手が台風などの災害の時に、消防団活動で不在となるので反対されている。
以前は反対されていた。
核家族が多いなかで、共働き、子育てがあるのに家族の理解などあるわけがない。
実際の消火、災害、行方不明者の捜索等は理解しているが、操法訓練や年末警戒など疑問に思っていることもある。
活動しないと地元での評判が悪くなるから応援してくれている。

【問 8】 消防団でやりたいこと、やってほしいことなどはありますか。

回答	回答数 (A)	A/1,549 人	割合
大型車両や重機の免許取得の助成	633	41%	31%
救急救命講習	246	16%	12%
チェーン等救助資機材の使い方の指導	274	18%	14%
消防学校での講習参加	45	3%	2%
地元の子どもに放水訓練や消防車両を見せることで消防団を知ってもらう	209	13%	10%
若手団員同士の交流会	188	12%	9%
女性分団との意見交換会	88	6%	4%
その他	330	21%	16%



その他の意見

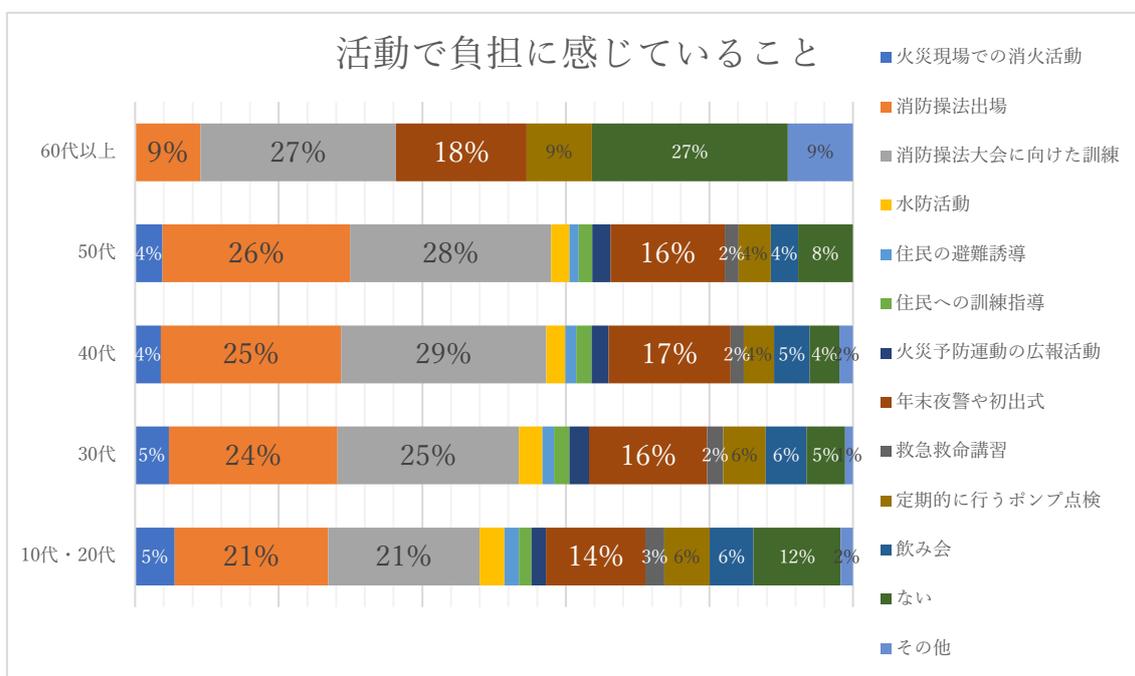
消火訓練。消防車両や器具の取扱いの講習会。実際の火を消す訓練。災害対応の講習。
チェーンなどの資格の取得補助。
特にない。
任意で参加するのであればいいが、参加を強制するのはどうか。
団員の負担を減らしてもらいたい。

段階的な消防団の縮小もしくは解体。
行事、訓練等への参加可否の自由。
消防団を今の時代に合う形に変えてほしい。
負のイメージが強いので、市民に知らせず活動するのではなく、市民をもっと巻き込んで大々的にアピールすべき。
操法大会で優勝目指したい。
これ以上の活動はやめていただきたい。増やしてほしくない。
幽霊団員を退団させて活動する人を再入団させて欲しい。定数を見直ししてほしい。
行事を減らしてほしい。
操法訓練および大会廃止。
団員の減少。分団（部）の減少。
大阪市には消防団は設置されていない。南あわじ市には設置されている理由を、市民や全団員が理解できるようにしてほしい。
充分やってほしい事をしてもらっている。
AED の設置
火事の後に分団が現地に残る理由を教えてください。
定年制を導入してほしい。
どのような催しが行われたとしても、半強制で入団している以上、何かに強制的に参加させられることは耐え難い。希望者のみで良い。地域から最低何名参加等もやめてほしい。人数が揃わず開催できないのならば延期にすれば良い。本当に必要なら少人数でも行えば良いと思うし反対はしない。有事には微力でも貢献したいと思う。
宴会
雨水タンクの設置による補助金の配布。
消防団に不信感しかないので、早く退団したい。
操法の大会やパレード、初出など形式的な事は生活の負担になるのでやめてほしい。実際に地元で火事が起こった時の対応を具体的に細かく指導してもらいたい。
地元のみ活動だけにして欲しい。
現在、若手団員の運転免許証で準中型を運転することが出来ません。以前、選任に確認したところ各自実費で取得する様に指示があった。誰がわざわざ消防車の為だけに免許を取得するのか？
観光産業と連携するなどして、島外の観光客が見に来たくなるような、地域の特色と防災を組み合わせた行事の実施。
操法大会で活動時間を使うより、地域の要救護者を把握し、災害時に避難できるよう自宅訪問などを行い、日頃からの関係作りが必要だと思う。
操法大会への参加を分団で選択できるようにしてほしい。

<p>本当に地区のために活動したい人だけで活動してほしい。</p>
<p>地域団員におんぶに抱っこで任せきり。市が誰も責任を取らないという市の姿勢は改めるべき。新入団員をしっかりと市が中心になって募集をする。このままでは団員が老人だけになってしまう。</p>
<p>人身御供のように入らなければならない空気を作っている慣習を変えてほしい。</p>
<p>未婚の団員との婚活パーティー</p>
<p>広域消防を充実させて消防団を縮小してほしい。</p>
<p>台風や大雨時などの待機はそれぞれ自宅で待機するなど、時代や仕事の多様性に対応してほしい。</p>
<p>ハザードマップなどを利用した自然災害への対する講習や訓練を行い、災害時の行動規範を統一してほしい。</p>
<p>火災の際の優先順位のマニュアル。</p>
<p>高齢化に伴う人員配置の見直し。人数の少ない分団は減るが人手のある分団に負担が回ってきている。所属分団とは違う地区の対応を依頼されても、地理が分からないで出動する場所も分からない。</p>
<p>日曜日の行事が多い。休出手当を出さないといけないと思う。</p>
<p>方面隊というくりではなく、各地域の特性に合わせた訓練が必要だと思う。例えば当地域では、広域消防指導による高低差のある中継訓練、沢等の水利の確保の仕方、消防活動に必要なロープワーク等の講習など。</p> <p>現状行っている本庄川ダムでの中継訓練は、失礼ながら慣例的で、ただその場に居るだけで、知識や技術の習得にはなっていないと感じる。中継訓練の経験者、未経験問わず、水利のポンプ車、中継のポンプ、道中のホースの状態、火点の筒先、それぞれの場所での注意事項や器具の操作、想定される不具合での対処方法など、参加者全員が操作できなくても、少なくとも見れる状況を用意して欲しい。</p> <p>方面隊というくりであれば難しいと思うので、各地域で小規模な中継訓練を行い、その訓練を踏まえた上で、ダムでの実践的な訓練(現在のようなあらかじめ持ち場が決まっていて、すでにセットされている状況ではなく、その場で対策本部の指示によって展開するなど)の方がよいと思う。</p> <p>消防団の行事と言えば慣例的なものが多く、本当に必要なのか？ということが多い。各分団が必要と考える訓練を年に1回でも行う方が有事の際に役立つと考える。</p>

【問9】 消防団活動で負担に感じていることを教えてください。

回答	回答数 (A)	A/1,549人	割合
火災現場での消火活動	178	11%	4%
消防操法出場	992	64%	24%
消防操法大会に向けた訓練	1085	70%	26%
水防活動	126	8%	3%
住民の避難誘導	66	4%	2%
住民への訓練指導	87	6%	2%
火災予防運動の広報活動	104	7%	3%
年末夜警や初出式	679	44%	16%
救急救命講習	87	6%	2%
定期的に行うポンプ点検	219	14%	5%
飲み会	222	14%	5%
ない	232	15%	6%
その他	59	4%	1%



その他の意見

各種訓練、台風の屯所待機。
定員も割れ、若手が少なく操法等の行事の負担が一部にのしかかっている。
方面隊、本団からの協力依頼という名の強制。
退団しようにも新しく入って来ないので、いつまでも退団できない。
消防団の存在が多くの子市民の負担である。
台風の待機、長時間拘束されて狭い屯所に密で居るのが苦痛。ネット環境もないので情報を得るのも大変である。
初出式。
実働人数が少なすぎるので行事、訓練等すべて負担になっている。操法大会の選手の確保も難しくなっている。
操法の大会のする意味が分からない。エンジンのかけ方の講習くらいでいいと思う。実際火事になったらホース延長が真っ直ぐな場所はあまりない。
消防操法大会は団員のメリットよりデメリット（負担）の方が大きい。初出式に関しても同様。必要であれば全てに関して出動手当を出すべき。やるのであればもっと地元で行うべきである。水利の位置を確認するなど。
初出式や訓練が気候の厳しい極寒や猛暑の 때가ほとんどで、さらに長時間を要する。集合時間が早く待ち時間も長くだらだらしている。
団員が少ない高齢の団は操法の大会や練習は肉体的精神的に非常に苦しい。仕事場、家族に迷惑かけている。
分団長から選任分団長に強制的にさせられる事もあり、仕事やプライベートに支障が出る可能性がある。年功序列でやりたくない役職を強制的にさせられるよりも、リーダーシップのある人が推薦または立候補して上に立つようなシステムを構築したほうが、よい組織になると考える。
年末夜警、出初式は宴会の口実でしかない。新年会が負担。
喫煙者がいる。
夜警も朝まで寝ないで待機している。仕事が次の日あたりもする。
仕事柄、活動に参加できないので他の人たちに気を遣う。
団員数に定数があること。分団の男性のほとんどは団に所属している。これ以上団員を増やすことを望まれるのは負担。もし増やしたいのなら市で勧誘してほしい。無責任に我々に押し付けしないで自分で行動してほしい。
全部。
コロナ緊急事態宣言中に会合を求める事はやめてほしい。
火事などの際に出てくるのはいつも決まったメンバー。負担が一部にかかっている。その一方で報酬は普段来ない人と同じ。責任感がある人ばかりしんどい目をしている。

年末夜警、朝 5 時まで屯所待機は考え直して欲しい。みんな次の日仕事がある中で来てくれる。仕事や私生活などに支障が出ている。12 時で一旦おいて、あとは朝まで自宅待機にいて、何かあれば出勤という形とかにしてもらいたい

消火活動などは、やらないといけないことなので負担はない。

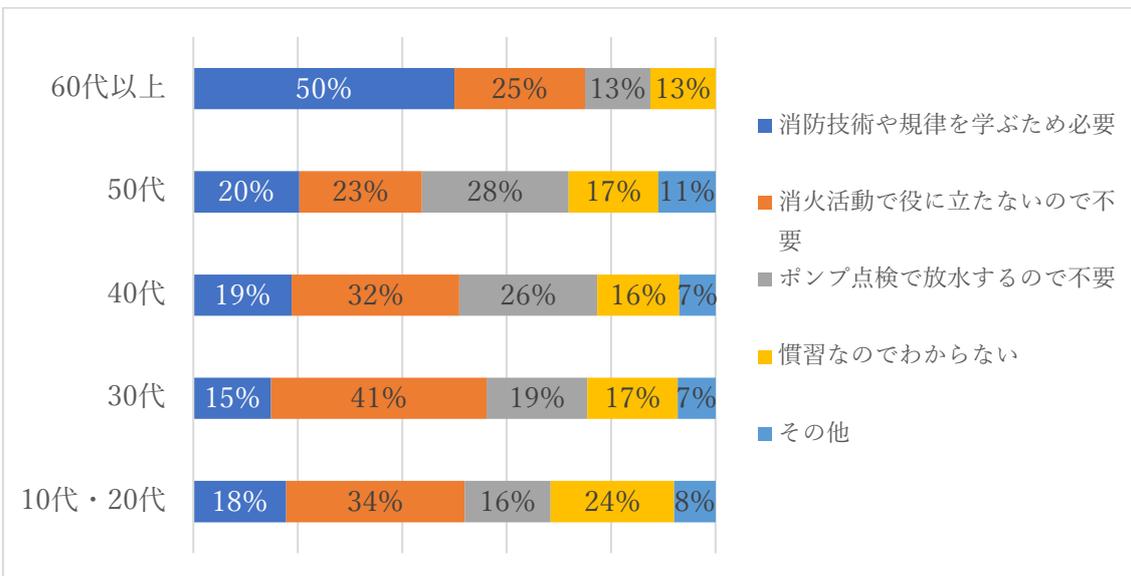
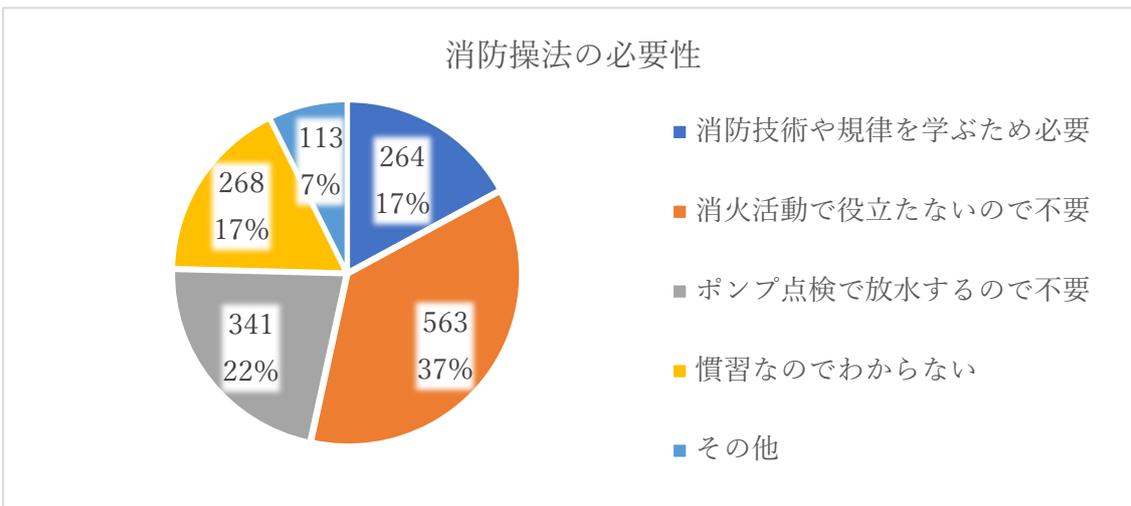
若い子が少なく新団員が入らず抜けられない。

過疎化も進み負担しかない。

入団直後は、操法や活動に積極的に参加できたが、ある程度の年齢になると、職場の役職、立場的に最優先にする仕事があり、緊急時などの対応が負担となっている。

ポンプ操法は器具の使い方を覚えること以上に、体や指の動かし方へのチェックが多すぎて、精神的な負担が非常に大きい。コロナ禍でポンプ操法や初出式は取りやめになっているが、今後も無くしていく方向で検討してほしい。

【問 10】 消防操法の必要性について



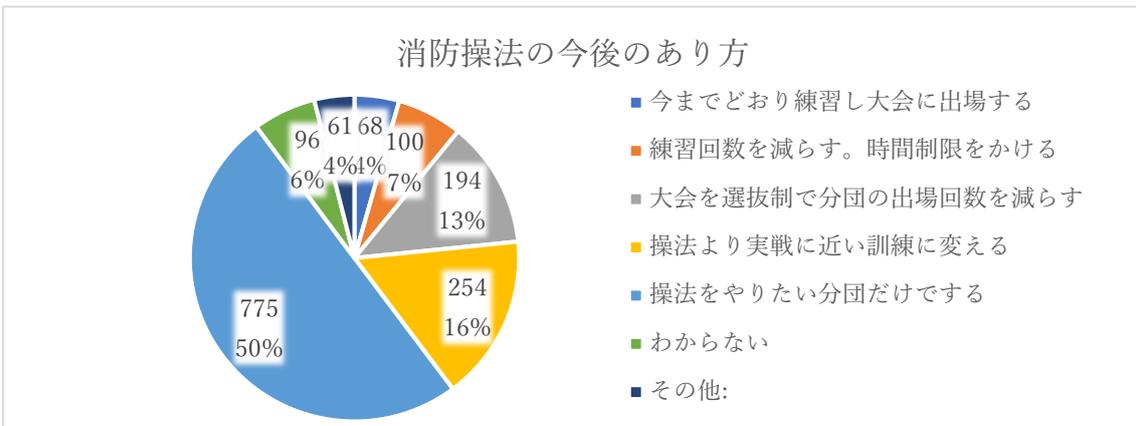
その他の意見

水出しの方法等を学ぶ機会ではあるが、練習の負担が大きすぎて生活に支障をきたしている。特に大会前は週に3回夜遅くまで練習をする。操法大会ではなく、水出しの方法を学ぶ訓練や連結訓練のようなものを充実させる方が良いと思う。
必要性を感じない。
専門性のある技術を専門性のある人材が扱うことが求められる令和時代において、このような昔の価値観による押し付けを必要としていない。
大会よりも団員全員がポンプ操作をマスターできる講習会を行った方がいい。キビキビした正しい姿勢よりも確実に放水できることの方が実践に有効かと思う。
新入団員が、消火の基本動作を身に付けるのには有効だが、時間や点数を競う競技としての必要性は無い。
不要とまでは考えないが、競技形式のため実際の火災現場で役立たないというのは事実だと思う。練習などで取られる時間や労力が多大なので若手団員の入団意欲、活動意欲に悪影響を及ぼしている可能性は高い。
何度も選手として参加しているので操法大会は不用。
訓練は必要だが、火災・災害時に活かしているか微妙。
毎年行わなくてよい。
団員が集合しても選手しか練習しないので、他の団員はただ見ているだけ。また選手も担当のところしか練習をしていない。訓練の中で全団員が機械や筒先を扱えるようになった方がよい。
メリットよりデメリット（負担）の方が大きい。
実際の放水や消火活動から外れ、操法大会の為の練習になっており、団員の気持ちや仕事との両立できず悪循環になっている。
操作方法を覚えるためなら大会をする必要はない。
入団して3年くらいまでの団員の消防活動技術の向上に必要だが、それ以上の団員で毎年何ヶ月も訓練して出場するのは負担でしかない。三十代後半からは訓練中のケガ等も多々あり、大会の見学で充分。また大会も都道府県大会までで充分、全国大会は費用がかかり過ぎる。
操法の練習は器具の使い方等の技術習得には大切なことだと感じるが、大会に出場するとなると練習等に多くの時間が割かれるため負担が大きい。ほかに技術習得の場があれば操法大会は必要ないと思う。
練習回数が多くなると負担が大きい。
全く役立たないとは言わないが、基本操作が出来れば消火活動は可能であり、操法は負担でしかないので不要。
火災現場で円滑に動けるように操法の練習は必要。

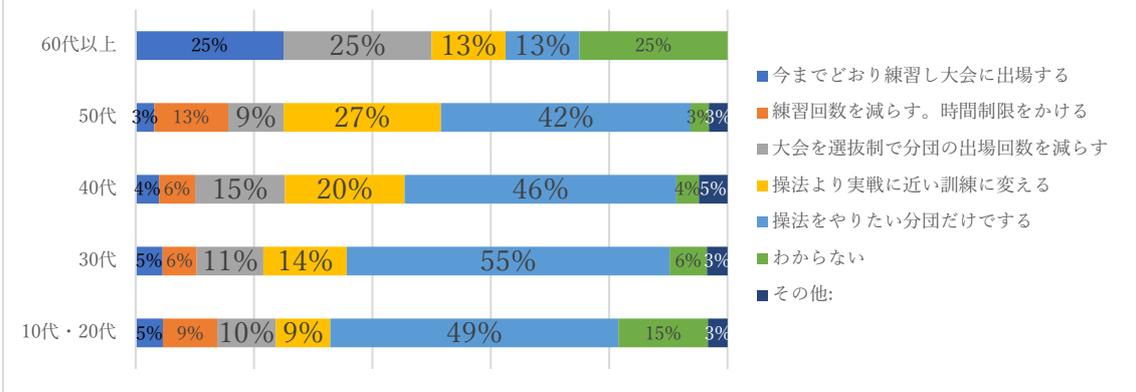
やりたい人でやればいい。
実際の現場での迅速な動作を学びたい。
大会と練習でかなり負担。その時期は仕事と私生活も含め、疲れておかしくなる。
形だけで実際に火事が起きた際には役に立たない。操法を覚えて素人が火を消せるか？二次災害の可能性も高い。非常に危険。
操法の練習期間や練習時間が長く、仕事に影響が出る。操法は不要。
操法の大会は南あわじ市ではなぜ一番の農繁期に行うのか？昼間は勤め夕方は玉ねぎ、夜は操法の練習。頭おかしい。
操法があると集まる機会があるが、なくなると誰が団員かわからなくなり、いざというときに動けない。
不要。活動をしているというただのパフォーマンス。
火事の現場では、操作方法は必要だと思うが、整列や番員全員の動作を揃えたりする操法は必要ない。
正確性・スピード等役に立つ部分もあるが実際の火災現場では不必要と思う部分もある。
職員なら必要かもしれないが、個々の専門性は団員には必要ない。浅く幅広く動ける要員が必要ではないか。
役に立たない部分の練習に割く時間があまりに多過ぎる。
何回もする必要性は感じない。負担が増えるだけ。それがネックで新入団員も入ってこない。
何年間か選手をしてホースの延長や連結、筒先操作を身体で覚える事ができたので良かった。
定期的に消火までの実際の動きをしっかりと確認しなければ、いざという時に動けない可能性もあるので必要だと思う。しかし大会など競技性は必要ない。
必要と思うが、若い団員が入らず団員の入れ替わりがほとんどなく、平均年齢が上がる一方の分団にとっては毎年参加するのは厳しくなっている。
週3程度の練習が仕事と家庭に負担があるため。
競技を極める視点に偏り過ぎて、実際の活動に役に立たない練習やこだわりが多い。
消火活動で役に立ったのは後片付けくらい。
基本技術や連携という点では訓練実施の必要性を感じるが、実際の火災現場との相違もあり、周りからは大会の為の訓練と捉えられているのではと感じる。
消防操法は消火の仕方、ポンプ、機械の使い方など学べて必要と思う。しかし旧町単位の大会まででいい。それ以上は規律とか重視になるので趣旨がかわってきてる。
日常の訓練で十分、この負担で皆が入団しない、幽霊部員が増える。幽霊部員は7割ぐらいいると思う
火事が出動しても賑やかし状態で待たされるだけなので、必要性は感じない。

操法しか教えないからポンプだけが消防団の消火方法と勘違いしている人が多い。
大会は全く不要。だが、ポンプの使用方法、接続方法を団員全員が習得出来るようなやり方をするべき。今の操法大会では特定の技能しか学ばない。また、選手以外は操作が不慣れである。全く火事場に役立たないことが多い。
実際の火災現場の時に必要な基礎、基本を身につけるには必要だと思う。
地域ごとに差があり、力を入れているところは操法練習の参加や指導される側が負担に思っている人も少なくないと思う。
大会としては不要だが、ポンプの操作法などの習得には役に立っている。なくす場合は別で操作習得に関する講習会等が必要となる。
しっかりと取り組んでいる団員は技術向上になっているが、やらされてる感がある場合は技術向上、迅速な消火活動に繋がってるとは思えない。
時間や形を競うやり方は不要。やり方を改善する必要がある。
仕事があっても操法練習などを優先しないといけないので不要だと思う。
消防活動を正確に、安全に行うために必要。
拘束時間が長く負担だが、消火活動の基本を学ぶ点では意味がある。やはり、必要以上に練習に時間をかけているのが負担。
慣例的な大会への出場、入賞が目的であれば不要と考える。
新入団員の訓練としてポンプ操法手順を学ぶのが良い。
地域で集まってホースの投げ方、機械の動かし方の基本的なことをしてるだけでいい。
実践に活かされるところを重点的に訓練という形で行うものであればいいと思うが、今の時代には合致していない。誰かの利権や名誉の為に行うのであれば廃止すべきであり、税金の無駄遣い(大会各経費など)である。よって必要性なし。
選手の確保が難しい。

【問 11】 今後の消防操法のあり方について、あなたの考えに近いものはどれですか。



消防操法の今後のあり方

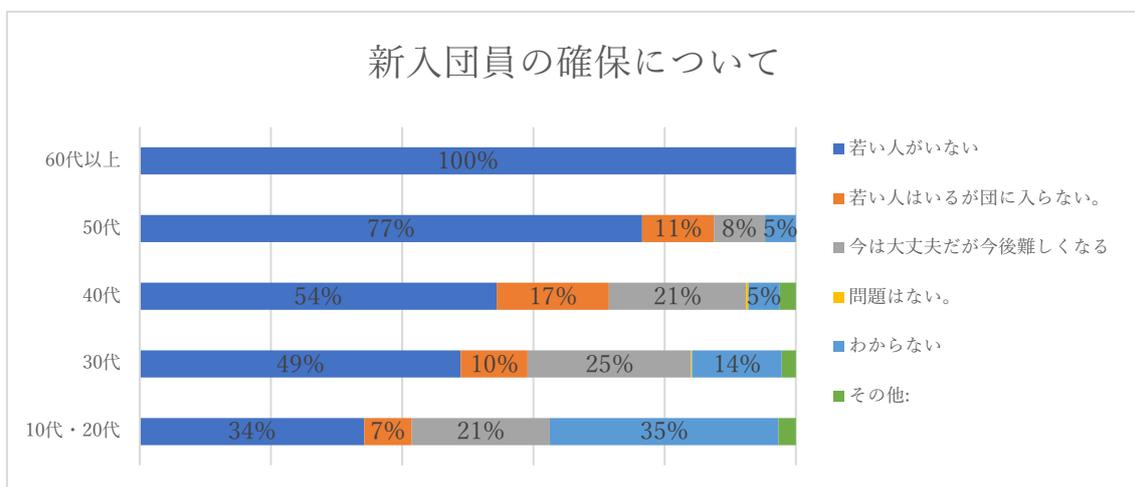


その他の意見

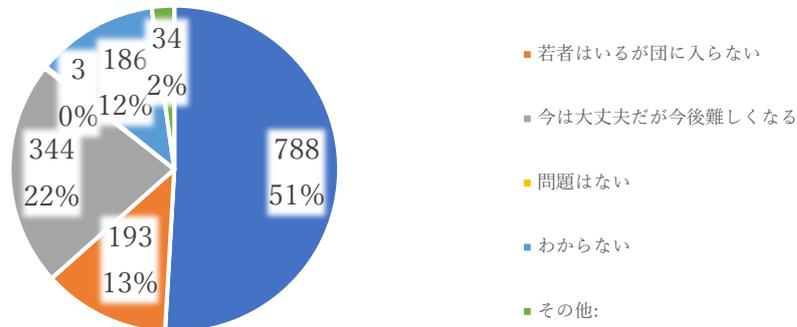
専門職ですべき、一般市民にさせるべきでない。
操法大会に何の意味があるのかわからない。火事場で役に立つのではなく、操法大会のためのものになっているので、役に立たない。強制にしないでほしい。
やりたい分団よりも、やりたい人がいるならば、その人達だけでやってもらいたい。
大会は必要なく、実際に火事場で行う行動についての訓練にする。
操作方法は訓練制にし、大会は強制参加にせず出たい地区だけの参加にすれば良い。
操法大会は各団順番でまわってくる。高齢の団員が肉体的精神的に大変。もし自分が持病を持ち 5,60 歳になっても大会や練習に参加するとなると不安で仕方がない。逃げたい。強制参加は止めてほしい。
素人に無理矢理やらして、運営に税金を使うのであれば、消防士を増やしたほうがメリットもあるレクオリティも上がる。かつ、経費は削減できるのではないか。
生きがいにしている人がいる。
消防操法大会に向けての練習が負担である。
消防団に判断してもらおうなど、市として責任転嫁せず、行政が判断すべきこと。
やりたくない人に強要してほしくない。
コロナ禍の今こそ活動を大きく見直し、消防団に無意味な操法大会、長時間の式等を撤廃し、有意義な活動を行ってほしい。
全体では、実践中心の訓練に変えつつ、操法もやりたい人はやれるようにすればいい。
今の時代に合わない。
今まで通り操法大会をするのが、消防団としての技術向上だと思う。地域によっては、操法大会の練習も温度差がある。それは仕方がないと思う。しかし、辞めたりすると技術向上にならない。
分団員の少ない地区では、出場選手が毎年同じで消防操法の意味がなくなってる。

地区大会のみでいい。
そもそもコロナ禍で出来ないと思う。やるならコロナに感染した時の保障は必ずしてもらおう。自営の方などは最悪倒産する可能性もあると思う。自分がもし操法が原因で感染したら、裁判してでも保障はしてもらおう。
練習は必要だと思う(技術、知識向上、今後教えられる人も少なくなっている)。しかし、競う大会にする事が不必要ではないか。速度よりしっかりした手順をまず身につける事が最優先であると考えます。
廃止。やりたい分団だけするというのは、現役団員全員が止めると言っても、OBが反対したら続けることになる。市で廃止にしてほしい。実際の消火活動で使う消火技術や、機械の操作方法など定期的(3ヵ月に1回ほど)に訓練する方が良い。
操法を名目に飲むなら要らない。
やりたい分団という単位では、個人の意見は尊重されない。
職業で消防隊の方が規律等の観点から、消防団にも操法の訓練や大会が必要と考えることは理解できる。ただ、他に仕事のある消防団においては、道具や機材の使い方を習得する程度の練習くらいでよいと考える。操法の訓練のために違う職種の団員と頻りに時間を合わせることは、非常に難しく大変苦痛。練習の目的は、大会でよい成績を残すことではなく、使用方法をマスターすることが妥当と考える。

【問 12】 新入団員の確保に問題はありませんか。



新入団員の確保について



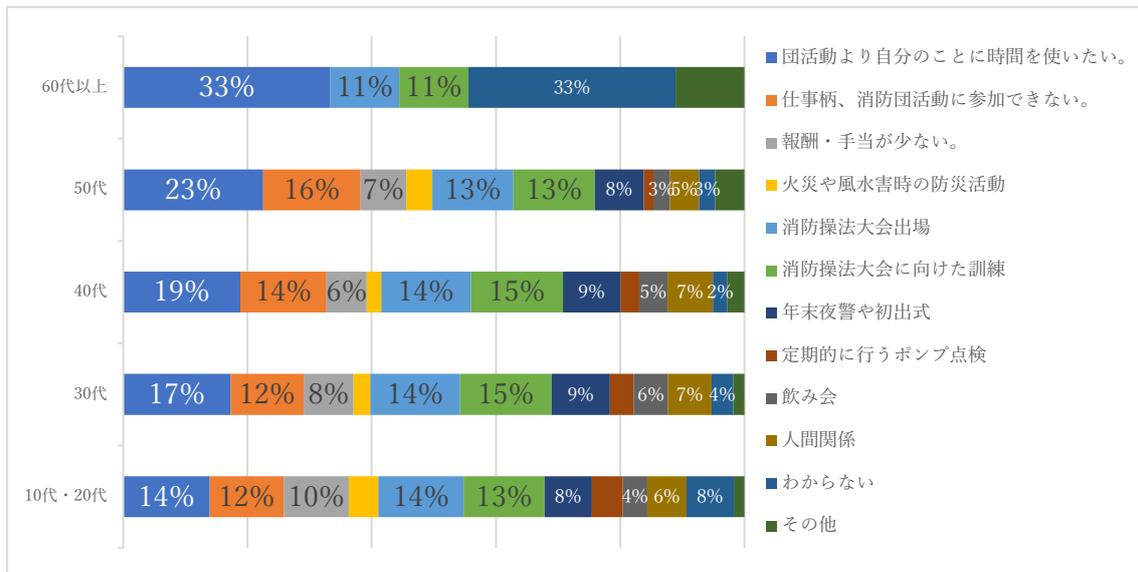
その他の意見

消防団の解体、縮小が必要。税金の無駄。
確保が絶対というのが問題ではある。
少数精鋭にすべき。もしくは少しでもいいので賃金を直接払い意識を高め教育すべき。
古い風習のせいで若手が入らない。
数年に1人入団する程度。
若い人がいるが、現在は親が入団を断る状況。
このような団体に誰も入りたがらない、上の人間が偉そうに文句言うだけ。
若者がいない。現に入った若者も消防活動が嫌でやめた。名前だけで参加してない人も多数いる。ただでさえ少ない人員なのに、名前だけで不参加の団員がいるので大変である。その辺も団本部と市役所はどう考えてるのか理解できない。
少子化などで人間が減っているので、定員を変えるか合併をしてほしい。
昔と違い若者の数が減少しているのに、団員の定数が以前と変わらないのが意味不明でしかない。
人数を維持する為だけに、幽霊や高齢の団員を入れておく必要があり意味をなしていない。
少子化社会では消防団そのものが合っていない。
分団の定数のため、団員の貸し借り問題をうやむやにしないでほしい。
20代の負担が大きすぎる。
最低限の定員確保は必要であるが、新たに入ってくる団員がおらず将来的に退団の目処が立たない。
地元に戻ってくる人が少ない。地元に戻ってきて夜勤など仕事の都合で、なかなか操法の練習に参加するのが難しい人が多い。
1番若い団員で33歳。その次に同地区に住んでいる男性は中学生まで下がる。その次に小学生が3、4人程度。保育園児が3、4人。自分達のように消防活動が出来ない状況の

地区も多数ある。複数の地区を一つにするなどの何らかの対策が必要だと思う。
若い人も減少している。現状だけ見て人数がいる分団に負担させているが将来退団できる目処があるか不安。そもそも業務ではないのでやめる事を検討できる仕組みが必要。活動しても来ない人は来ないので、一部の団員だけが大変な思いをしている。実態に見合った活動に縮小すべき。
常に困っている。操法大会や初出があるため淡路から出たり、あえて市外へ引っ越したりしている。若い世代の人口減に繋がっているのがまだわからないのか？
自分が嫌なのに新入団員確保するのが辛い。
定数制による人数確保がある限り退団できない。それを知っている若い人は入団したがらない。

【問 13】 入団してくれないのは、何が支障になっていると思いますか。

回答	回答数 (A)	A/1,548 人	割合
消防団活動に時間を使うより自分のことに時間を使いたい。	900	58%	18%
仕事柄、消防団活動に参加できない。	644	42%	13%
報酬・手当が少ない。	386	25%	8%
火災や風水害時の防災活動	142	9%	3%
消防操法大会出場	725	47%	14%
消防操法大会に向けた訓練	737	48%	15%
年末夜警や初出式	461	30%	9%
定期的に行うポンプ点検	180	12%	4%
飲み会	248	16%	5%
人間関係	352	23%	7%
わからない	176	11%	3%
その他	115	7%	2%

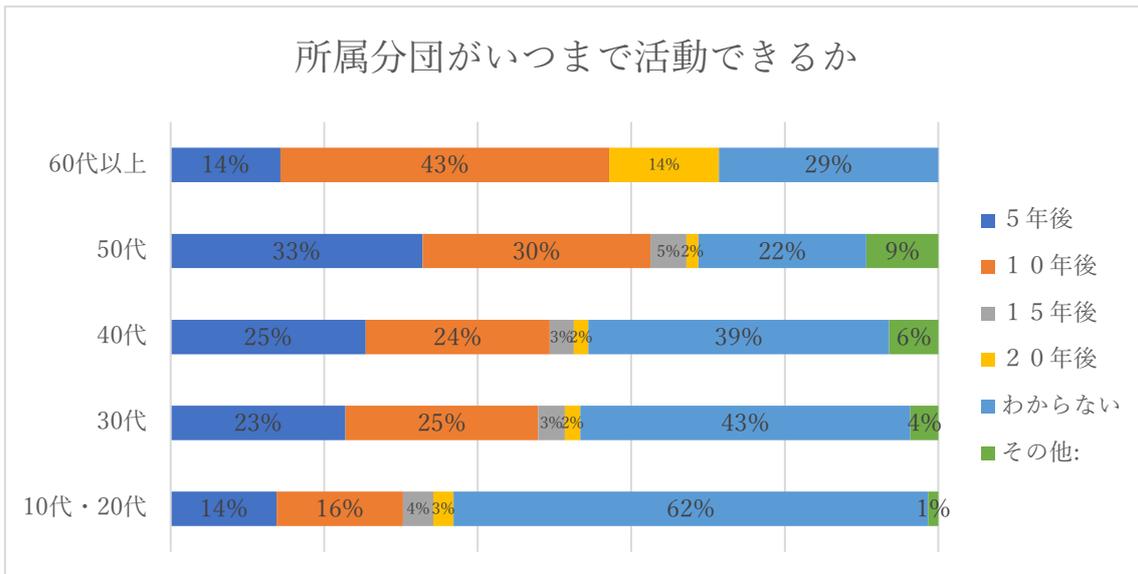
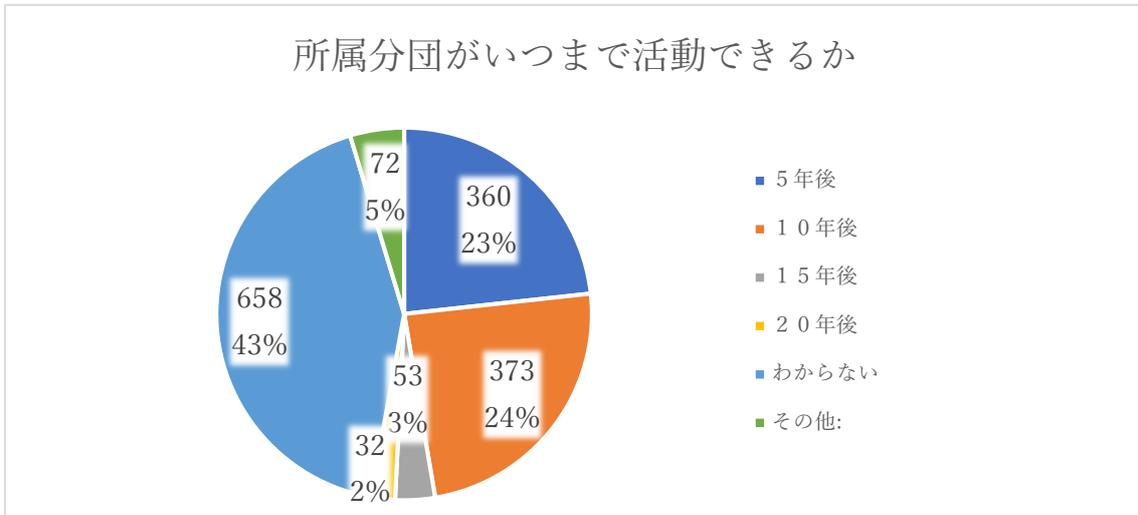


その他の意見

若い人が地域に居ない。若い人が都会に出てしまっている。
マイナスのイメージばかりが先行しているように思える。
地域に雇用の受け皿がない、未来がないので若い人材が出ていく。その流れがなく人口増加が進めば、そもそも消防署を設けて消防団を廃止出来たはず。時代の流れもある。入団させるには？を考えるのではなく、別の方法で地域の安全を確保する方法を考えるべき。
全てだとも思う。消防団というものへの嫌悪感があるからだと思う。
入団すると操法など消防団活動に対して多くの時間が拘束され負担となる。そのため希望者もいないし、入団しても幽霊団員になっている。
だらだらとした地域づきあいが億劫。年配の人の話を聞くとき、若手はただ時間がすぎるのを待つだけになっている。
都会から移住された方に消防団の事を理解してもらえてない。
週刊誌やテレビニュースなどで、消防団の駄目な部分が大きく取り上げられイメージが悪い。一旦入ってしまうと抜け出せなくなるから。
人口減少。過疎化。入ってくれる人がいない。
他地域に住んでいるため、入団の重要性を伝えるのが難しい。
初出式の意味が全くわからない。その時間があるならポンプ点検や屯所の整理などもっと出来る事がある。地元の情報交換等もできる。
消防団に入ると行事が多いのでと敬遠されがち。入る必要性を感じない。
うちの地域ではないが操法訓練の練習といいながら、屯所で宴会や賭け事をしている団の話聞くことがある。私が入団した頃は屯所では酒、タバコ、世代の違う年長者の機嫌とりなど嫌な事しかなかった。同世代で改善してきたが、若い20才代の世代はいない。
役員を選出や操法などの決め事が原因でもめ、数人が幽霊団員になり辞めた。

島外や他の地域から引っ越して来た方は、入団する事が無い。
民間企業の方は消防団に入り、市役所の職員が消防団に入らない。実際にいるので調べてほしい。こんなことが起こってたら、余計に民間企業に勤めている人は入らない。
同世代がいないので入りづらい。
消防団に入団すれば負担が増えるだけで、入団するメリットがない。
活動内容が分からないかと思う。必要性が理解できていない人もいる。
みな生活するために働いている。働く時間も人それぞれ。消防団のようなボランティアをしている場合ではない。
このことをアンケートで調査しないと分からない組織に問題がある。
消防団のマイナスのイメージが、インターネットやニュースで普及している。消防団自体の中身がよくわからない人が多い。
一度入団したらいつ退団できるかわからない。
外から越してきた人にとって、必要と思われていない。また、良いイメージをもたれていないのではないかとされる。
親に入るなどと言われていたり、他人から消防について悪い情報のみ聞かされたりしていることだと思う。
そもそも次に入ってくる予定の男性は地区で生まれてすらいない。今の中堅団員が退団できるのは簡単に見積もっても 50 年先。団員全てに死んで退団せよというようなもの。
ほぼボランティアであえて入ろうと思う人は基本的に少ないのではないか。
事前知識の欠損が問題だと思う。消防団を知る機会が無すぎる。
昔は飲み会などをメリットとして集まっていたが、予算削減され新歓や大会慰労も自腹やお足しで行うようになり、名前だけの幽霊団員が増えている。夜間育児の手伝いをせず、操法練習に行くので奥さんからの理解が得られない。
消防団に入らなくても(子供をいれてなくても)、不利益はないとよく言われる。入ったら足抜けできないので損なイメージらしい。
消防団に入っても知り合いがいなかったらどうしようという不安。
家族の理解。
移住者は地域のことに参加しない。家を建てる前に前もって理解、承諾した上で住むようにしないと元々地元の人だけの負担になっている。
地域防災の貢献意欲などの低下によるもの。
限界集落なのでそもそも人がいない。10 年以上メンバーがほとんど変わっていない。
市在住ではない人も何人か入団して活動している。市外在住でも消防団員に勧誘している。そこまでして人数確保をするのはおかしい。そんな人が入っても活動にあまり参加できない。南あわじ市在住に限定すべきだし、人数確保が難しいなら団員を削減すべき。

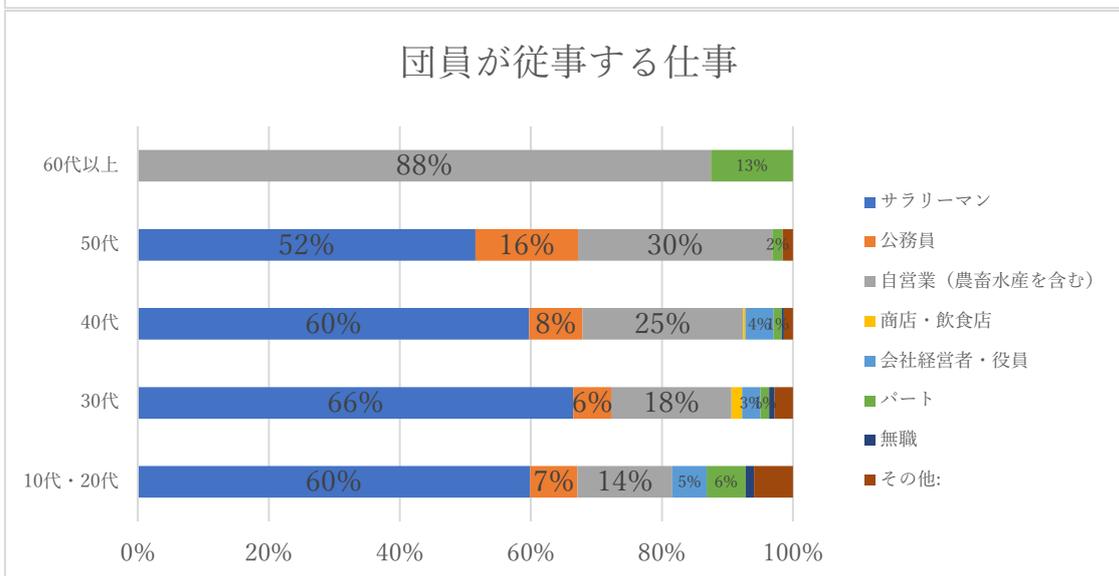
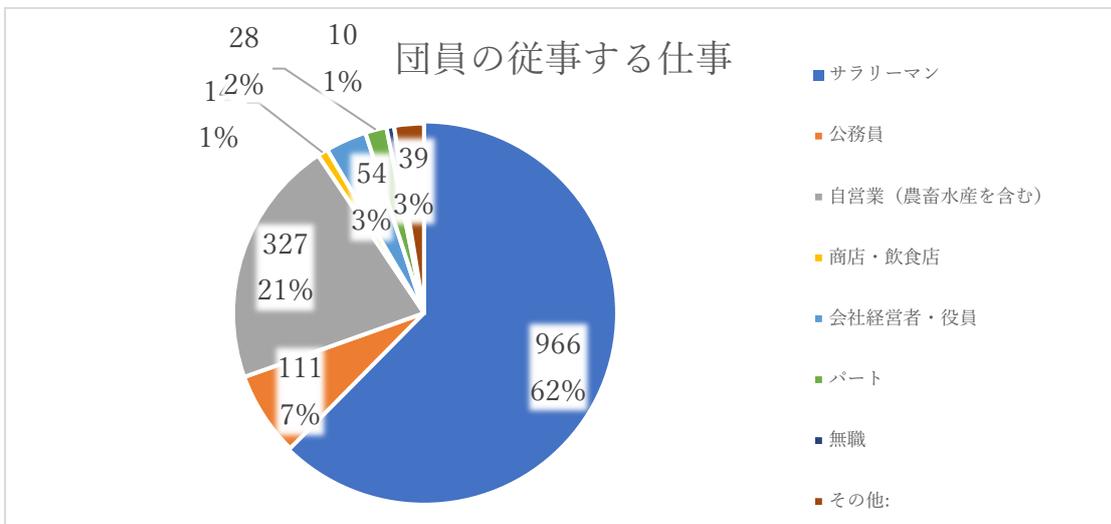
【問14】 いつ頃まで所属分団は消防団活動が維持できそうですか。



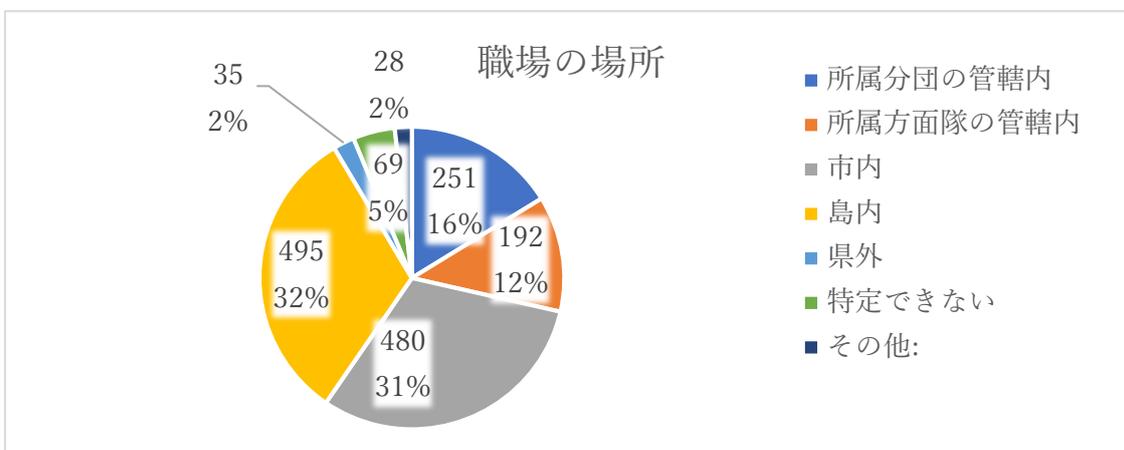
その他の意見

早くに解散すればいいと思う。みんな家庭や仕事があるから。
すぐに辞めたい。すでに無理な状態と感じる。
年配の人ばかりになるが維持できると思う。
すでに定員割れの状態。すでに維持が難しい。
幽霊団員が多く協力的な団員の負担が大きいため、存続は無理。
団員の高齢化や新入団員の確保が困難。消防活動は維持出来るかもしれないが、現団員の負担が大きくなるのは確実だと思う。
維持はできるが質が問題。ただ維持するだけになると思う。
所属している人数に比べ、実際に活動している人が少なすぎ負担が大きすぎる。ポンプ点検や消火活動はいいが、操法や初出式等は全く意味がない。
地方の職業では安定した収入に繋がる職業は少なく、出稼ぎをする形になっている。地方に留まれない為、来年には活動に参加することも出来なくなりそう。新入団員の確保が出来ない為、参加していないが退団出来ず、幽霊団員のようになってくると思う。
仕事等で緊急時に出動できる団員が少ないのが現状。
他の分団に比べ平均年齢が高く、親子で入団している団員もいるので不公平。地域の人口比率により団員の人数調整をするべき。
操法大会、練習等が無ければ維持は出来ると思う。
地域にあった人数確保にしていっての方が良いと思う。
机上の定員数が確保されているのは幽霊団員が登録されているから。ポンプ点検等に参加できるのは7割程度。さらに訓練や有事の際に活動できるのは4割程度。今後、新入団員確保の見込みがないため、消防団OBの再入団や自主防災組織との連携をしなければ、近いうちに維持できなくなると考える。
南あわじ市がこのアンケートを10年早く実施していれば、今の現状にはなっていなかったのではないかと思う。分団の人数を確保できてこそ維持。今は破綻寸前。

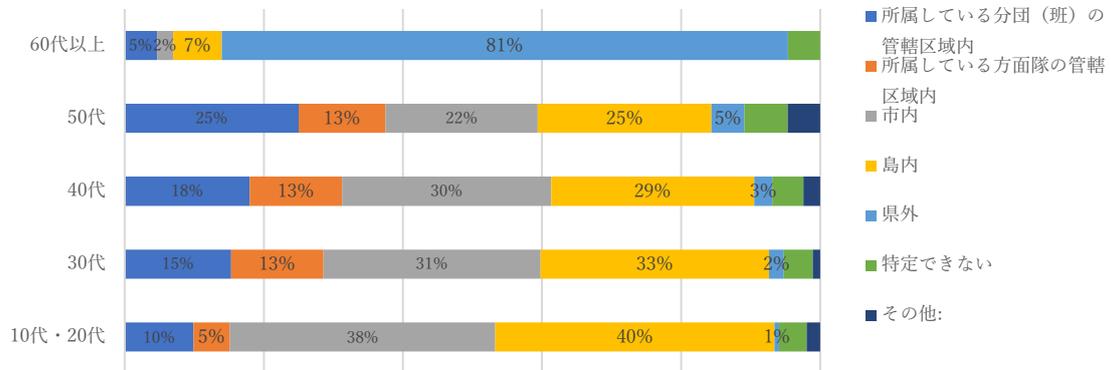
【問 15】 あなたの仕事を教えてください。



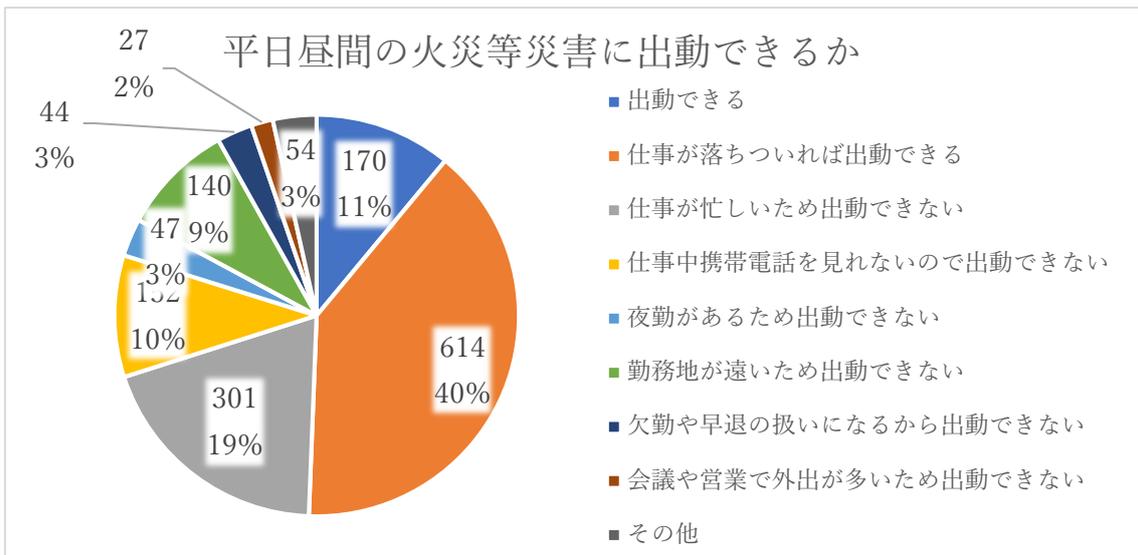
【問 16】 あなたの職場は、次のどこですか。昼間いる場所でお答えください。



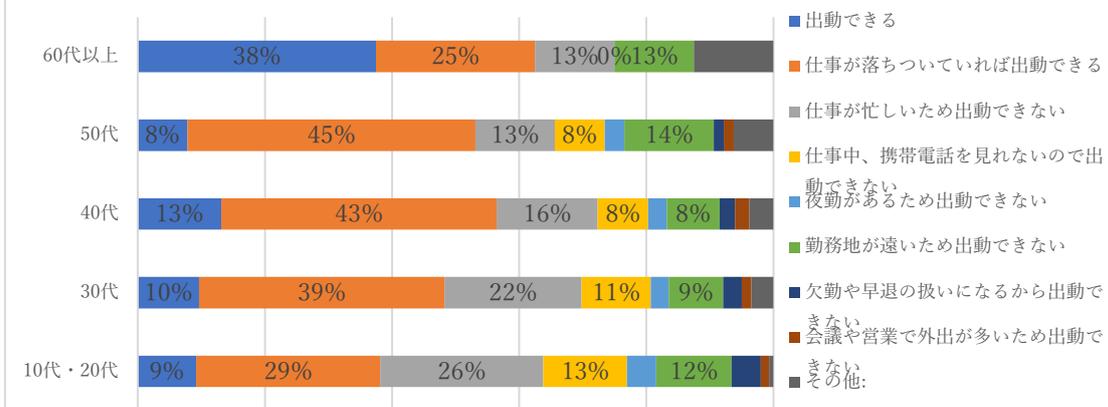
仕事の場所、昼間いる場所



【問 17】 平日昼間に火災等の災害があった場合、出動できますか。



平日昼間の火災等災害に出動できるか

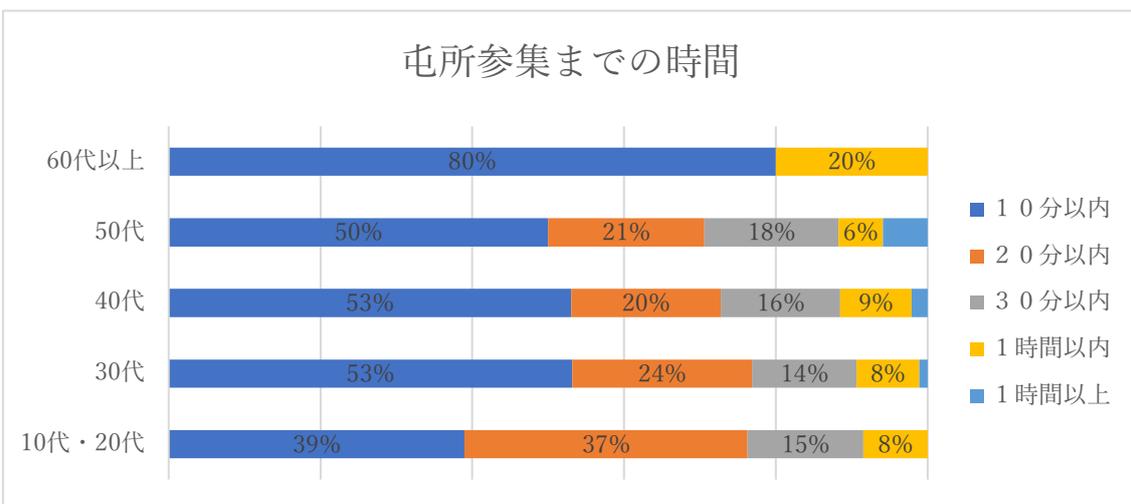
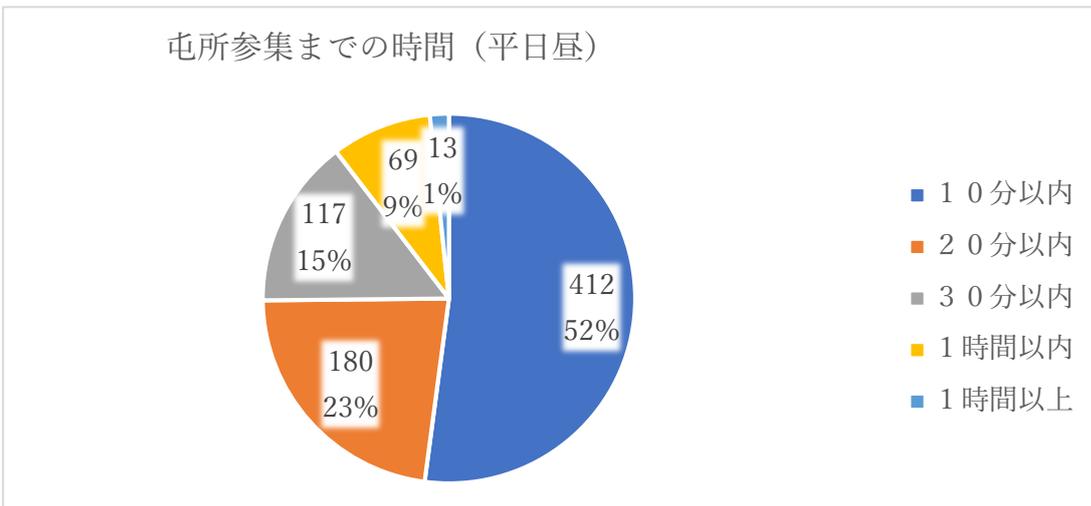


その他の意見

上司に理解があるため時間がある時は活動協力できるが、今後は厳しくなる。
仕事が休みの時のみ。
仕事が休みで家にいれば可能。
島内で仕事をしていれば出動できる。
みんな条件は違うと思う。行けない場合が仕事である。携帯を持ってない時間帯の人もある。遠い所で仕事してる場合もある。アンケートにならない。行けるなら行く。
営業職なので有事の際にどこにいるかわからない為、出動困難である。
出張中以外は参加できる
不規則勤務なので出動できるかどうかわからない。
仕事中携帯電話を見ることができない。
島外なので基本不可能。
自営業の時間帯であれば、昼間でも出動は可能であるが、別の仕事で夜勤もあるためその時間帯では出動することはできない。また、今後家庭の情勢次第では自営業の時間帯であっても困難になるかもしれない。
消防活動より職場の業務優先のため。
平日の日中は出動不可。
会社本社が島外であり、消防団活動に積極的理解がない。
自由がきかないので出動できない。
昔と違って昼間に人を集めるのは厳しい。平日昼間の出動費が安すぎる。昼間に出動させるなら1人1万は最低出すのと個人に振込むようにしてあげてほしい。あくまでアマチュアで本業でないにもかかわらず、幹部は平日昼間人が集まらないならばもっと集めるように言ってくるが、消防団趣味！生きがい！という人達ばかりが集まっている組織じゃない事を流石にわかってほしい。
普通の会社員の心理として仕事を優先する。
家族を養うために、本業で稼ぐ事が重要。私が仕事を抜けた報酬は、消防団では補填できない。また参加出来ない為、団員報酬も出来れば頂きたくない。
仕事の状況によるが、出動する場合、年休を取得する必要がある。
働く場所場所が決まってないないので、連絡があっても間に合わない。
仕事が忙しい。しかし仕事を抜けていかないと、後で何を言われるかわからないので出動するしかない。
行けない割合の方が多い。
空いていても行かない。
人が確保できなければ出動せざるを得ないため、対応しているが負担でしか無い。
職場の人員が少ないのでなかなか抜け出せないし、携帯を見ることがあまりできない。

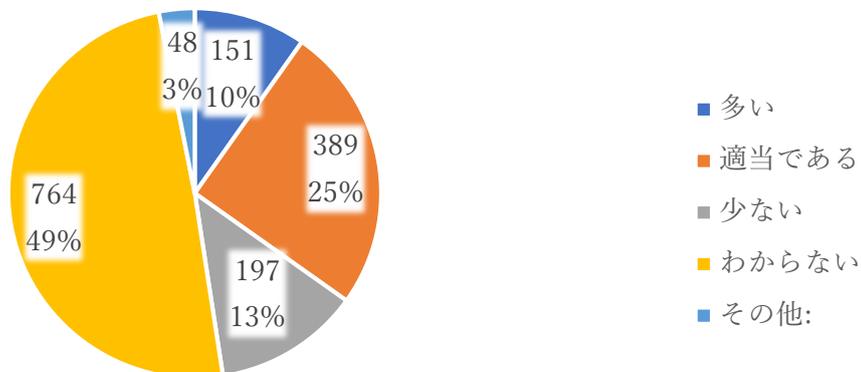
職場は消防活動に理解が無いため不可。
仕事が忙しい時は出動できない。
農業出荷に追われていれば段取りが遅れる。会社員と違って定期収入がない。
火災の状況による。メールを受けて即行っても鎮火していたりするので近場の団員に任す。大規模火災は遅れて出動する。
自分の仕事を代わりにできる人がいれば、出動できる。
出動できるよう努力している。
海上なのでできない。
漁師なので平日は沖に出ている。
メール等気が付けばできるだけ参加している。

【問 18】 消防団屯所もしくは詰所までの参集時間について

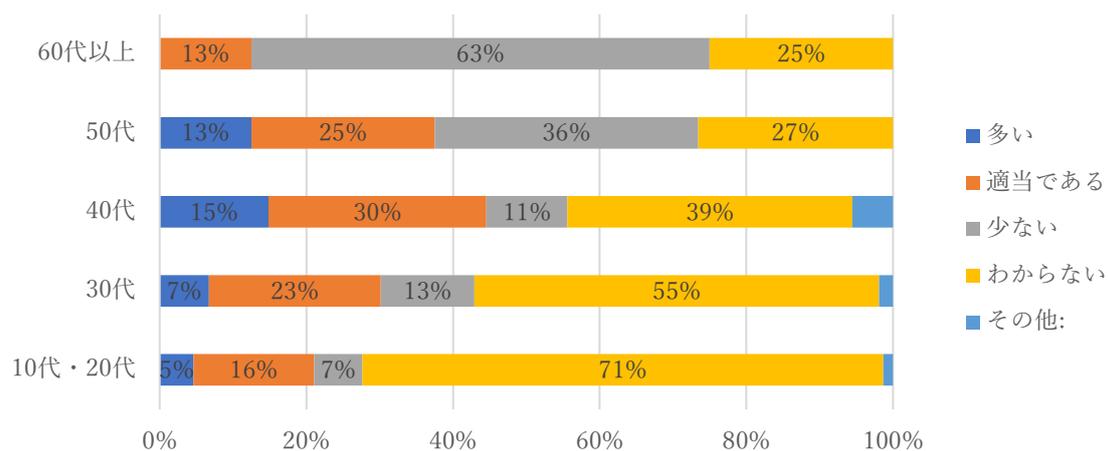


【問 19】 大規模な建物火災や林野火災の対応で、所属分団の定数は適当だと思いますか。

大規模火災で対応する分団員定数



大規模災害の分団の定数について

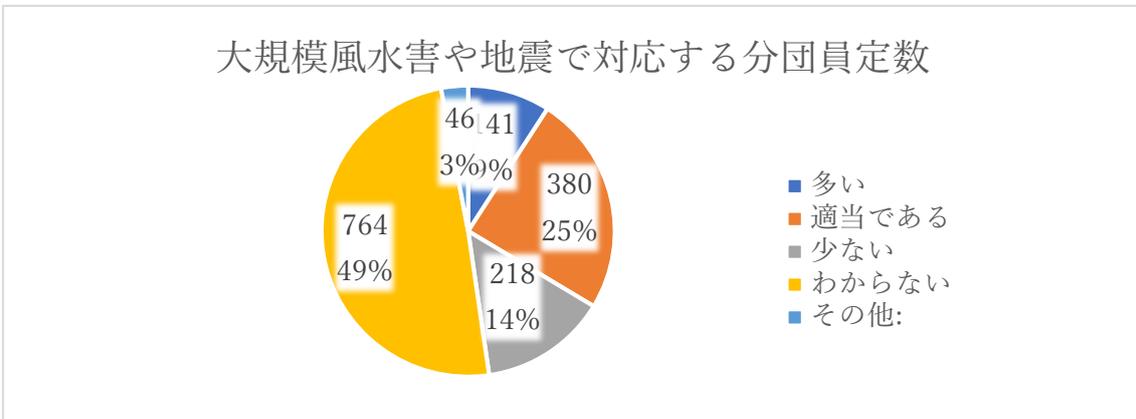


その他の意見

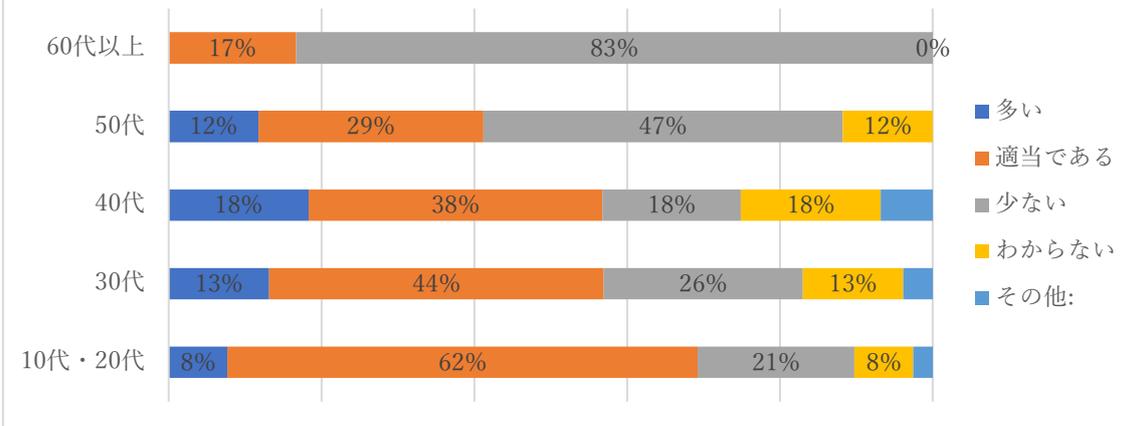
- 定数も割れているうえに、出勤している団員は大抵同じである。
- 大規模火災であれば、人口の多い都市の消防署員でも人は足りない場面が当然出てくる。その場合どのようにして人員を集めているのか、そちらに目を向けるべき。設問が不適切。
- 何か起きた時に助けてもらえる行動を取っていれば団員数は特に多く必要なわけでは無い。ただ団員ではない方の怪我、事故などの保障の問題は出てくる。
- 定数よりも稼働できる機材の数とそれを操作する人員が重要かと思うので、そこから逆算して定数を定めるのが適当かと思う。
- 定数以前に火災時の出勤人数が少ない。
- 実際出勤するメンバーは限られているので、引退待ちのような幽霊団員が増えるなら定数にこだわらず減らせば良いと思う。

実働人数が不明なため、そもそも対応出来るか不明。
仕事があるので全員集まらない。
定数は適当であるが、日常の活動における参加率が低い為、大規模火災等には対応できかねないと思う。
定数はあくまで定数。やる気のない人間がどれだけ集まっても戦力外なのは明白。
火災の規模による。
表面上は定数が確保されているが、常時活動に参加している人数は限られている為。大規模な災害が起これば、どの程度の人数が集まるか把握できない。
基本的に多いと考えるが、平日昼間等の出勤できる最小人員を考えると少ない。
松帆地区は団員数が多く、2つまたは3つに分けて適当。大規模火災、林野火災の対応は適時応援で対応するのが適当だと思う。
幽霊団員が多く、出勤してくれる人が限られているので少ないと思う
消防士を増やしたほうが役に立つ。
大きな災害なので人が必要なときはあるが、無理に定数を守る必要はないと思う。
現場に行っても人が多すぎて多くの人が見てるだけ。今すぐ定数を減らすべき。
普段の災害でも人が集まらないので、定数とかの問題とかではない。
大規模となると当然足りていない。
消防団に使う無駄金を広域消防の人員を補充すべき
定員は少し減らしても同じだと思う。実際に参集するのはいつも決まった人で定数の半分いるかどうかといった感じなので。
定数を増やすのは無理。
人数は適当であると思うが会社務めの人が多いため、火災の起こる時間によっては、出勤できる人員が少ないことがある。
管轄している面積で考えると少ないが、人口で考えると多いと思う。

【問 20】 大規模な風水害や地震の対応において所属分団の定数は適当だと思いますか。



大規模風水害や地震等の分団の定数について

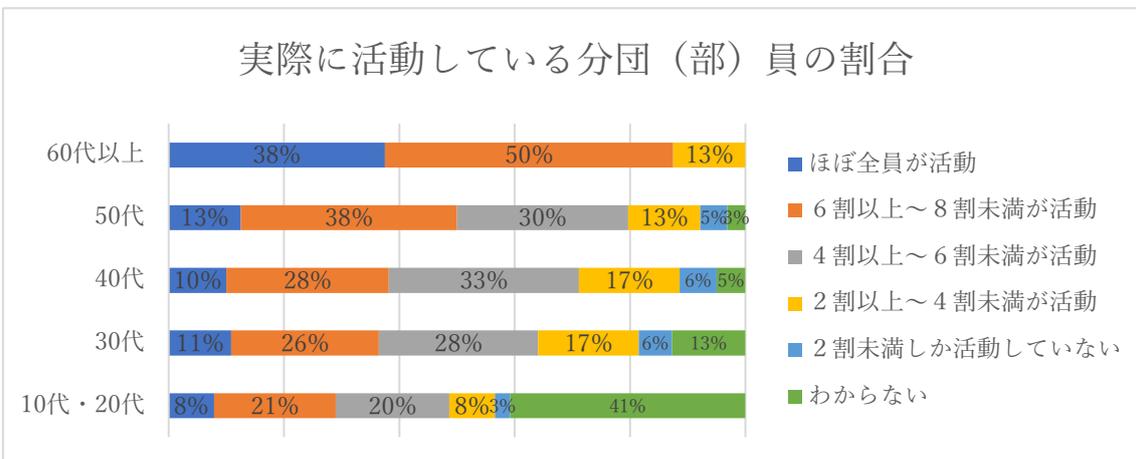
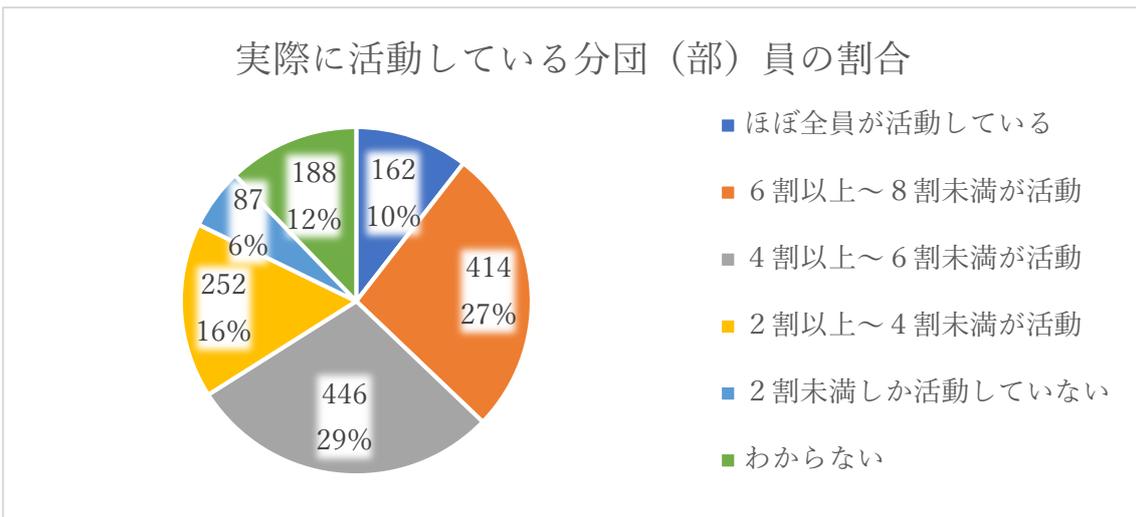


その他の意見

定数も割れているうえに、出動している団員は大抵同じである。
大規模な災害であれば、人口の多い都市の消防署員でも人は足りない場面が当然出てくる。その場合どのようにして人員を集めているのか、そちらに目を向けるべき。設問が不適切。
その時の出動人数による。
実働人員が不明なため、そもそも対応出来るか不明。
定数は適当であるが、日常の活動における参加率が低い為、大規模な風水害等には対応出来かねないと思う。
定数はあくまで定数。やる気のない人間(幽霊等)がどれだけ集まっても戦力外なのは明白。
幽霊団員が多いから定数が少ない。
災害の規模による。
表面上は定員人数が確保されているが、常時活動に参加している人数は限られている。大規模な災害がおこればどの程度の人数が集まるか把握できない。
そもそも必要性を感じない。
定数はあっても別の地域に住んでいる人が多く、判断しかねる。
大規模な災害を団員として経験したことがない。
定数を増やすのはやめてほしい。
大規模な風水害や地震時は自分の身を守るより、消防団員としての責務を優先しなければいけないのか疑問に思う。消防団員になりたいくて生きてるわけではない。
大規模な災害だと団員が何人いても足りない。
ある程度は年齢制にして、大規模な時にだけ出動してくる消防団員を決めていいと思う。

消防署の人数を増やすべき。
普段の災害でも人が集まらないので定数とかの問題とかではない。
定員は少し減らしても同じだと思う。実際に参集するのは同じ人で定員の半分いるかどうか。
定数と実際に活動にその時参加できる人数は一致しない。定数の人数が全員参加してくれないと思う。何班かに分かれて同時対応しないといけない場合もあるかもしれない。長期戦になったらローテーションの必要もある。そういう時は方面隊、市域で応援すればいいのかなと思う。
管轄している面積で考えると少ないが、人口で考えると多いと思う。
そんな規模の災害では、自衛隊まで出動要請されると思う。
消防団員 OB にも協力してもらえばいい。
消防団員も被災者。

【問 21】 実際に活動している団員の割合は、何割くらいと考えられますか。



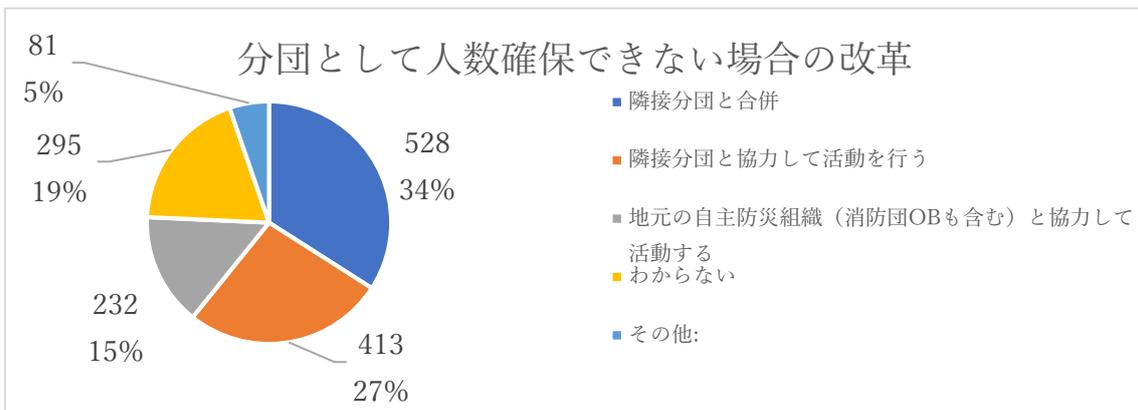
【問 22】 所属分団で通常の建物火災や台風等の災害対応の場合、最低何人ぐらい実働できる団員が必要と思いますか。

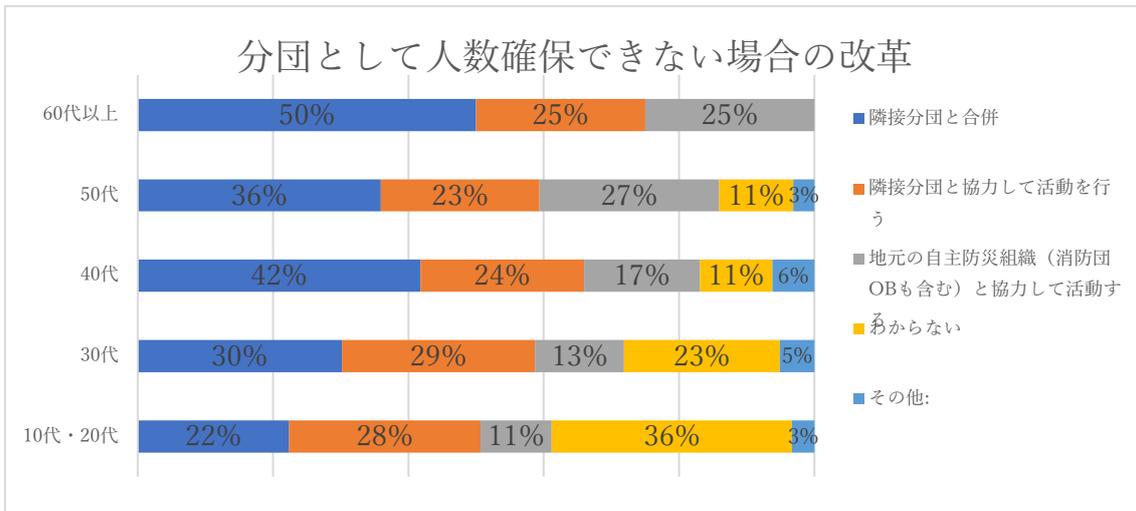
	回答の最大値	回答の最小値	平均値
山添分団	2人	1人	1.3人
広田分団	11人	1人	4.0人
中筋分団	6人	1人	2.0人
中条第二分団	2人	1人	1.6人
長田	6人	1人	2.7人
神道	4人	1人	1.8人
庄田	2人	1人	1.5人
土井	6人	1人	3.3人
安住寺	2人	1人	1.5人
松帆第1分団第1部	3人	1人	1.7人
松帆第1分団第2部	4人	1人	1.8人
松帆第1分団第3部	5人	1人	2.5人
松帆第1分団第4部	13人	1人	3.0人
松帆第2分団第1部	4人	1人	1.6人
松帆第2分団第2部	3人	1人	2.0人
松帆第2分団第3部	2人	1人	1.6人
松帆第3分団第1部	4人	1人	2.0人
松帆第3分団第2部	4人	1人	1.8人
松帆第3分団第3部	4人	1人	2.2人
松帆第3分団第4部	5人	1人	1.7人
湊第1分団第1部	2人	1人	1.5人
湊第1分団第2部	2人	1人	1.3人
湊第2分団第3部	2人	1人	3.0人
湊第2分団第4部	5人	1人	1.6人
津井消防センター	9人	1人	3.1人
阿那賀第1分団第1部	3人	1人	1.3人
阿那賀第1分団第5部	2人	1人	1.3人
阿那賀第2分団第2部	6人	1人	3.0人
阿那賀第2分団第3部	5人	1人	3.0人
伊加利分団	7人	1人	3.7人
西淡志知分団	17人	1人	4.6人
府中分団	10人	1人	2.5人

おのころ分団	4人	1人	1.8人
幡多分団	6人	1人	2.7人
二宮分団	7人	2人	3.8人
八木第1分団	6人	1人	2.1人
八木第2分団	8人	1人	2.6人
八木第3分団	4人	1人	2.0人
八木第4分団	5人	1人	1.9人
市第1分団	7人	1人	2.7人
市第2分団	6人	1人	1.9人
市第3分団	5人	1人	2.3人
神代第1分団	4人	1人	1.5人
神代第2分団	4人	1人	2.3人
神代第3分団	8人	1人	2.4人
倭文分団	4人	1人	2.5人
三原志知分団	11人	1人	4.2人
福良第1分団第1部	2人	1人	1.5人
福良第1分団第2部	1人	1人	1.0人
福良第2分団第1部	3人	2人	2.5人
福良第2分団第2部	2人	1人	1.5人
福良第3分団第1部	2人	1人	1.2人
福良第3分団第2部	2人	1人	1.5人
福良第4分団	2人	1人	1.3人
賀集第1分団第1部	4人	1人	1.8人
賀集第1分団第2部	3人	1人	1.4人
賀集第2分団第1部	3人	1人	1.5人
賀集第2分団第2部	2人	1人	1.2人
賀集第3分団第1部	5人	1人	1.9人
賀集第3分団第2部	7人	1人	3.2人
賀集第4分団第1部	3人	1人	1.5人
賀集第4分団第2部	2人	1人	1.4人
賀集第4分団第3部	2人	1人	1.6人
賀集第5分団第1部	3人	1人	1.7人
賀集第5分団第2部	5人	1人	2.4人
賀集第5分団第3部	1人	1人	1.0人
北阿万第1分団第1部	8人	1人	3.4人

北阿万第1分団第2部	3人	1人	1.7人
北阿万第2分団第1部	5人	1人	2.1人
北阿万第2分団第2部	2人	1人	1.5人
北阿万第3分団第1部	5人	1人	2.0人
北阿万第3分団第2部	4人	1人	2.2人
潮美台分団	3人	1人	1.7人
阿万特設分団	5人	1人	2.0人
阿万第1分団第1部	5人	1人	2.0人
阿万第1分団第2部	3人	1人	2.0人
阿万第1分団第3部	3人	1人	2.0人
阿万第2分団第1部	4人	1人	2.0人
阿万第2分団第2部	4人	1人	2.0人
阿万第2分団第3部	5人	1人	1.8人
阿万第3分団第1部	2人	1人	1.2人
阿万第3分団第2部	5人	1人	2.2人
阿万第3分団第3部	3人	1人	1.4人
灘第1分団第1部	3人	1人	1.5人
灘第1分団第2部	4人	1人	1.8人
灘第2分団第1部	2人	1人	1.5人
灘第2分団第2部	5人	1人	2.0人
灘第2分団第3部	3人	1人	1.8人
沼島第1分団	8人	1人	2.1人
沼島第2分団	2人	1人	1.4人
沼島第3分団	1人	1人	1.0人

【問23】 人員を確保できず消防団活動が十分できないなど、分団としての機能が維持できない場合、どの様に改革をしたら良いと考えますか。



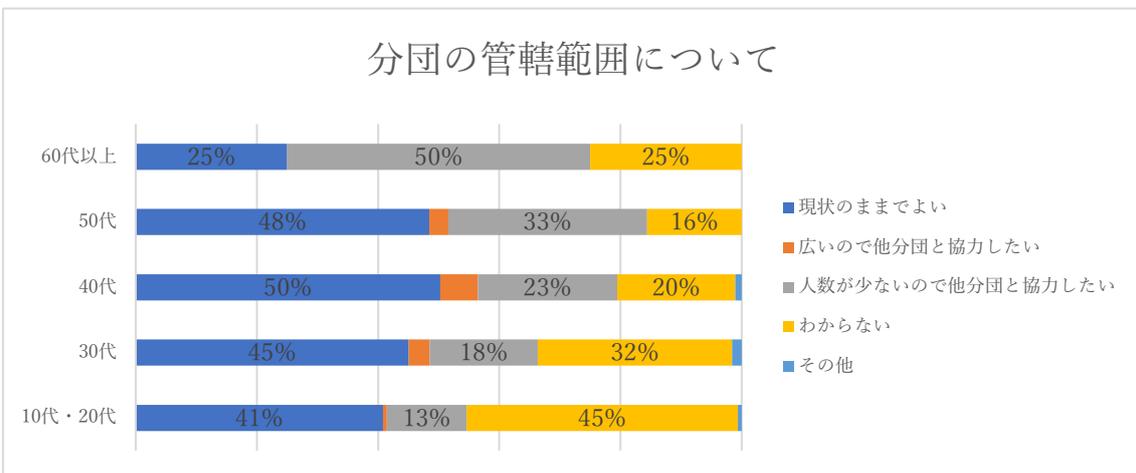
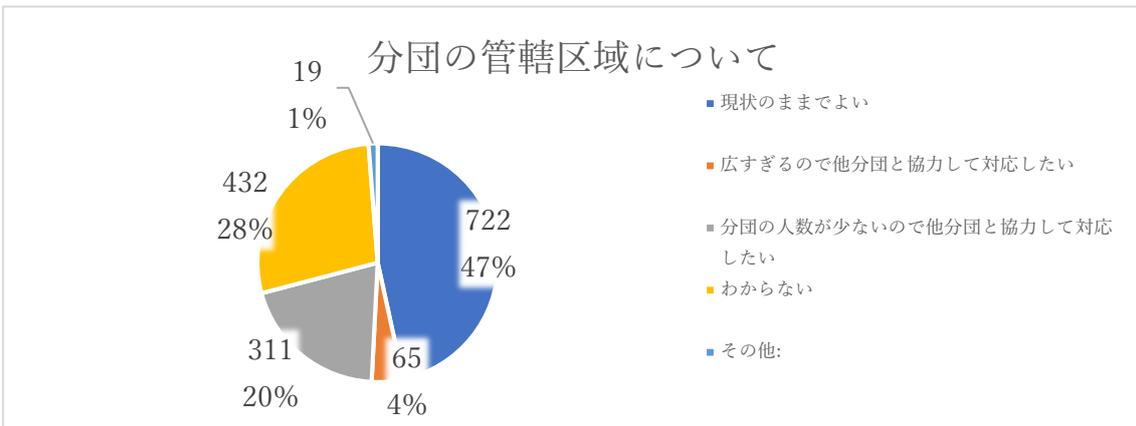


その他の意見

縮小解体し、専門職の雇用を維持する方が結果として地域のためになる。
そもそも所属分団で居住していない団員を頭数に入れている事がおかしいと思う。現実的に災害や火災に対応出来るよう、居住地が異なる団員を除外した団員数を把握して何が出来るか検討する方が良いと思う。
市と協力して人員を確保する。
PTA と合併して新しい団体にしたらいい。
市役所から人を出してもらおう。
合併・統合。しかし、管轄範囲が広がるため新入団員の勧誘が難しくなるなどのマイナス面も出ると思う。
本職（広域）の消防士を数名ずつ各地域（要所のみ）に分散させて、初期消火を行う。消防団はその後、補助を行う。現状のように本部に一点集中する必要はないのでは？
幽霊団員を退職させ、本職の人員確保に予算を回し、団員の負担軽減を図る。
活動できる団員を確保する。
消防団の廃止。
60才超の消防団OB など、元気で昼間も活動出来る人に協力してもらおう方が現実的。
まずは、市役所の職員で入っていない人がないようにチェックしたら良いのではないか。民間人に頼む前に、まずは公務員が率先して入るべき。
消防団でどうにかしようとする考え自体が間違っている。
各地区を一つに合併。
現状の活動内容では不可。内容縮小すべき。形だけ、見栄だけの初出式やパレードはやめた方が良く。島内人口減少しているのに、定数を削減しない理由は？
消防団活動の定義によって変わる。形式的な行事には 2 人もいれば十分だが、建物火災など本当に人手がいる場合は団員や分団、性別に関わらず参加出来る環境を整えるべき。

中高生や女性に協力してもらおう部分等も考えてみてはどうか。
消防活動が最低限で活動できる団員数まで減らす。
市で一つの消防団組織にして、市で一括管理する。
分団をなくし、市にもう一つ大きな消防署を建てる。
市役所職員で当番制にして人員を確保する。
幽霊団員を排除して必要な人間だけ残す、人員削減
隣接と合併ということもあるが、部落を合併することは難しい。お金の負担など。
活動希望者を募集し活動すべき。人が多いから良いと言うものではないと思う。
行事等の簡略化。隣接する分団すら人数がいるのか知らないし、合併となると人数調整も難しい。根本的などころから改革しないと難しいと考える。
職業として確立する。雇用の確保にも繋がるし、ほぼ活動してない団員に払う費用を削減すべき。
女性の消防活動の参画。
機能別消防団の確保。

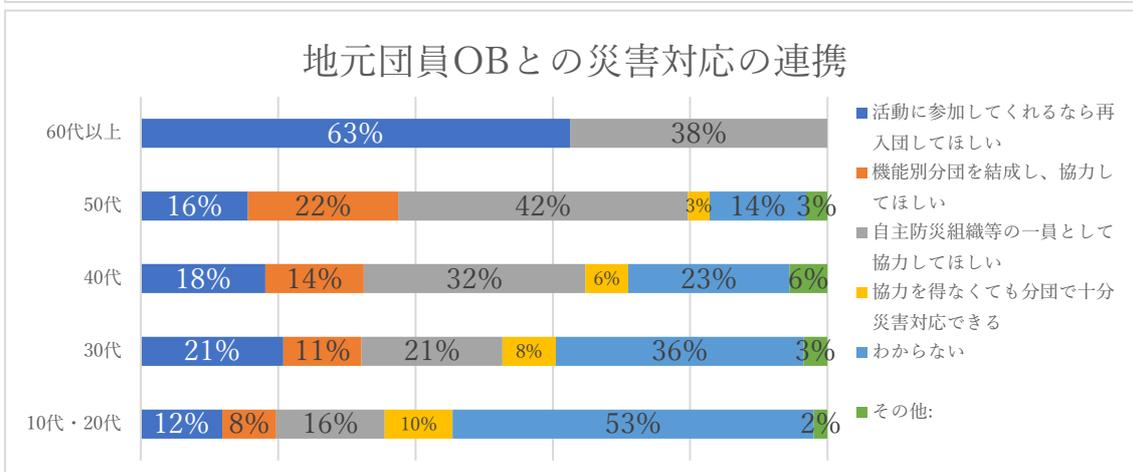
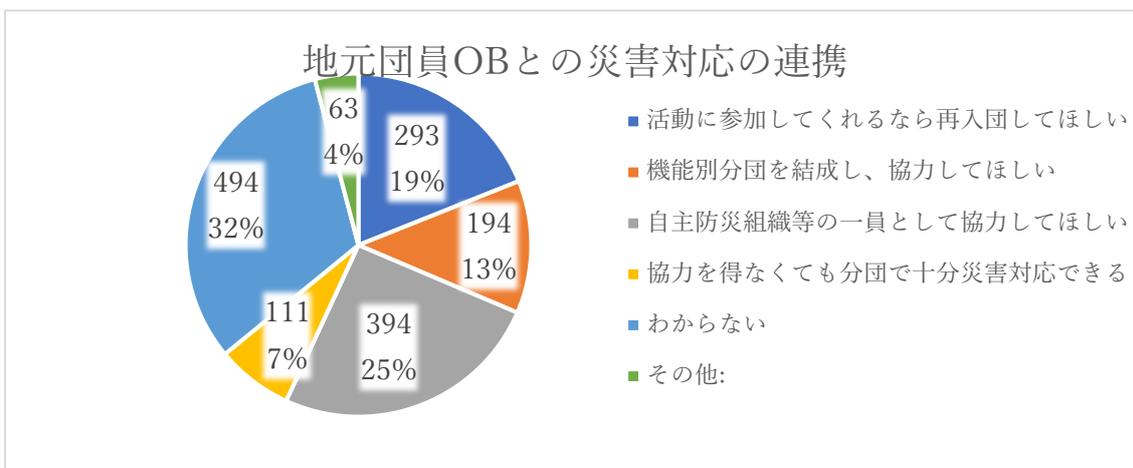
【問 24】 分団の管轄区域について、あなたのお考えをお尋ねします。



その他の意見

地域外に住んでいる人は少なくともなくすべき。いざという時行けない。
区域の問題ではなく、人員確保が重要。
協力的ではない自治体や地域があるので、人間心理として防災協力はしたくなくなる。
合併。
広過ぎるが他分団と協力しても出動回数が増えるだけ。そもそも幽霊団員が複数存在するのに負担が増える。広域消防のみで対応する等の選択肢は何故ないのか。
分団の垣根をなくして市全域を担当地域にする。
市地区はそれほど広くないので、分団をひとつにした上で、ポンプ車2台に可搬1台体制ではなく、軽トラタイプの可搬5台くらいで運用した方がいいのでは？人数は全体の7割くらいいればいいと思う。
自治会組織に機能を移す方が良い。
今後若手がいないので人数確保ができなくなるので合併、もしくは活動内容の縮小（操法などの廃止）などが必要。

【問 25】 地元におられる消防団員 OB との連携に関して、どの様に考えますか。



その他の意見

自分が退団した後に手伝いをするのは気が引ける。
60 歳以上の人になってしまい、怪我等の危険があるため好ましくない。
隠居させてあげてほしい。
解体し別の方法で維持管理すれば、そのような問題と向き合う必要がない。時代を考えて方策を検討すべき。考えられないのであれば担当者から外れるべき。今はどの業界でも人員不足が叫ばれ、それに呼応して別の対策を講じている。消防団だけ現状維持を目指すのは理解に苦しむ。統括している担当の職務放棄に他ならない。
ルールありきだと無理が出てくるように感じる。
皆いやいや活動しているので、協力してくれるはずがない。
積極的に消防団活動に参加して地元で対応して欲しい。
OB のほうが連携しやすい。
現在 50 代程度まで在席している。
必要性を感じない。
団員に戻りたいと思ってる人はいない。
結局高齢化なので何の意味もない。
団員が少ないため、災害や火災時には協力してくれる方もいる。
個人的には退団したらあまり関わりたくないため、連携は難しいと考える。
これから辞めていく人のためにも、この考えは止めて頂きたい。発言力のある上の人が言ったら無理に参加させられるから、自分なら絶対嫌。
任期を務めて退団した OB を頼るのは、あまりにも酷。
OB の方々はけっこうな年齢なので、普段から活動はしなくてもいいが、震災などの大災害の時には協力してほしい。
協力してくれる方は、すでに何度か協力してくれている。
再入団はけがなどのリスクが多すぎる。
自分の家や隣が燃えれば誰でも消火活動するだろうが、呼びかけても名簿に名前が増えるだけで活動実態の無い幽霊団員が増えるだけ。数さえ増えれば良いのか？肝心なのは「積極的に活動できる団員の確保」ではないのか。
OB を呼び戻すより、各分団合併したらいいと思う。
再度やると言える人がいるのか、強制になるのではないか。
退団しても OB として活動するのであれば高齢化が進む。若者の入団や団員削減が無い限り解決しないと思う。
実際火事があれば現役であれ OB であれみんな消火活動に協力する。
OB なんかに参加してもらったら、余計に辞めたくなる方が増えると思う。上から口を出されると若い子は、辞めたくなる。

OBに再入団してもらう前に、入団を拒否している住人を引き込むような提案をしてもらいたい。出動作業ごとに僅かな報酬をつけたり、正当な理由なく入団拒否した家庭には協力金を支払ってもらったりするなどの格差を付けてもらいたい。

消防を退団した後は、町内会とか農会が待っているのでOBの再入団はもってのほか。

必要に応じてよい。

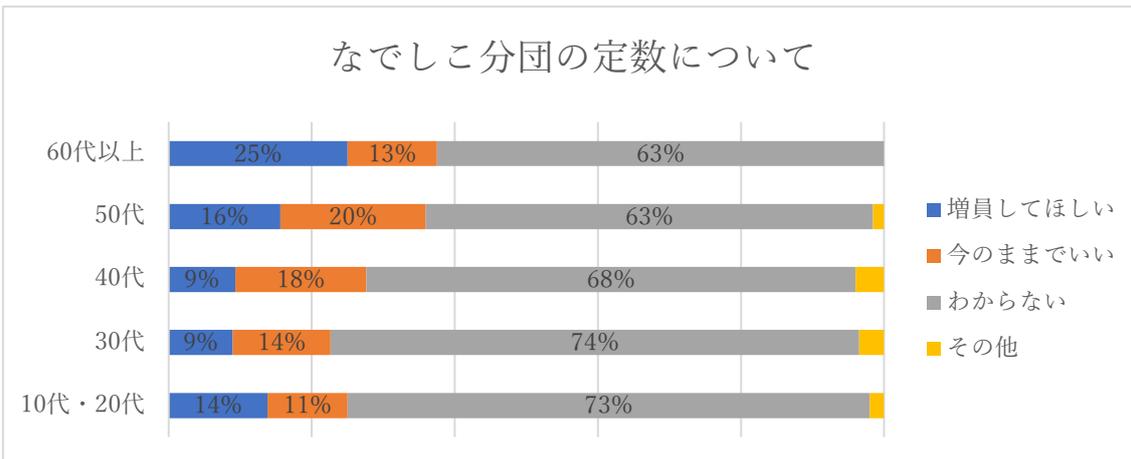
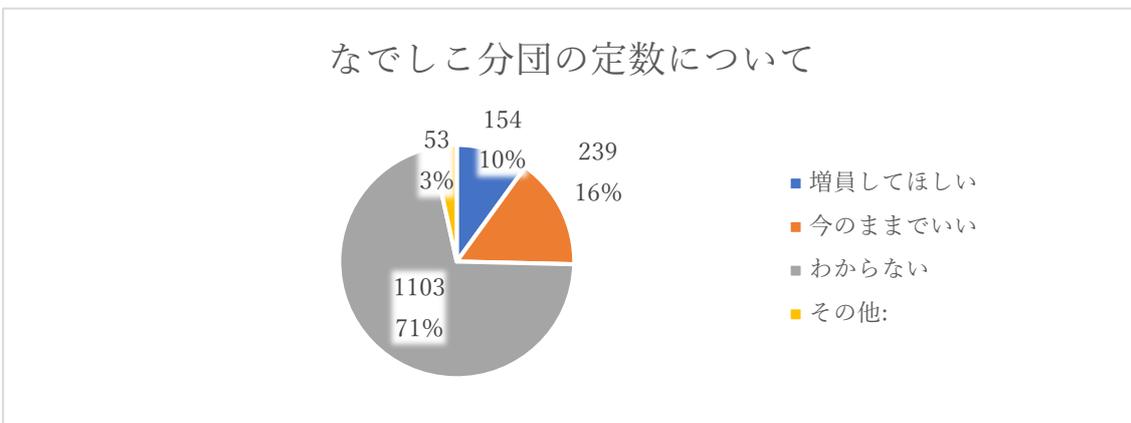
後方支援をしてもらう。

広域消防があるので不要。

OBと現役の消防活動に対する考え方に温度差があり難しい。

固いルールなどを作らず、手が空いているときに、消火活動に協力してほしい。

【問26】 なでしこ分団（女性分団：現在23名）の人数について



その他の意見

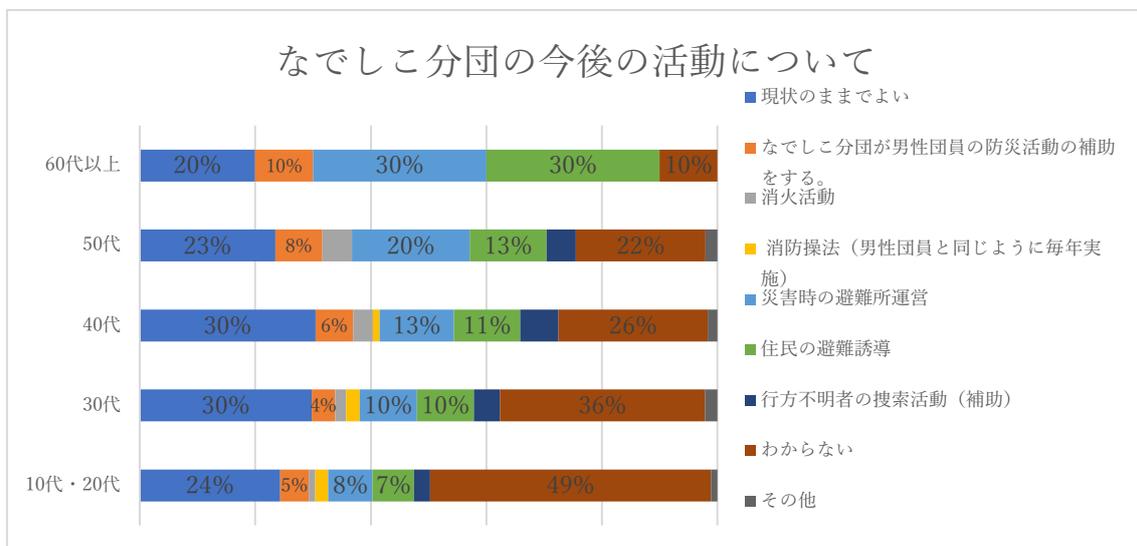
男性の手が足りないから女性の手をとというのがそもそも解決策になっていないことを理解すべき。人員が足りないから人で埋めるのではなく、人を減らしても運用できる方向に舵をきらない理由が理解できない。

志があれば増えてもよい。

男女分けずに各分団へ増員したらいい。
実際に現場で動けない。サポート出来るので増やして欲しい。
なでしことは別に分団にも女性枠を増やしてもらいたい。夜警や操法訓練は無しにして、男性団員とは活動内容を変えて参加してもらいたい。
元々消防団員とは思わない。男女平等と考えるなら、区別した組織は違う。
市役所職員を入れて増員すれば良い。
現状パートナーの理解も得られてない家庭もあると思うので、そこで更に女性に願う事は各家庭の負担を増やすだけだと思う

【問 27】 なでしこ分団がどういう活動をしていったらよいですか。現在、園児への防火指導や住民への救急救命講習などを行っています。

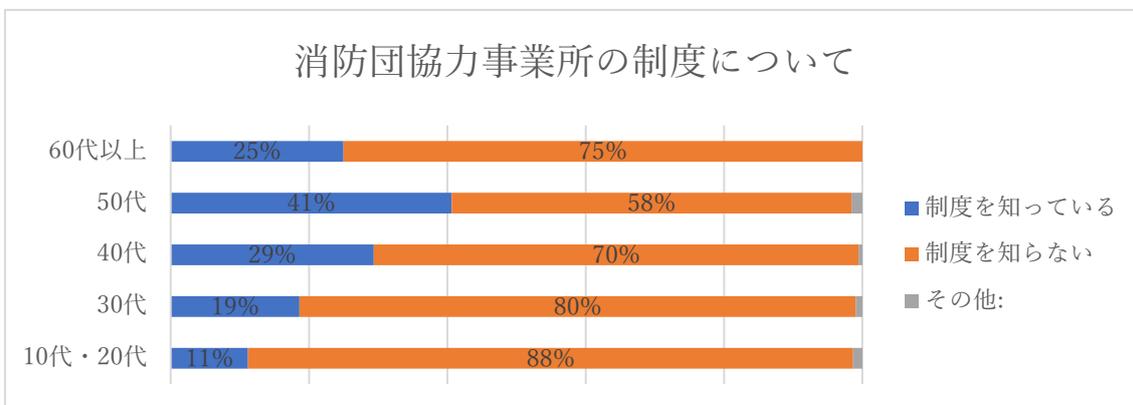
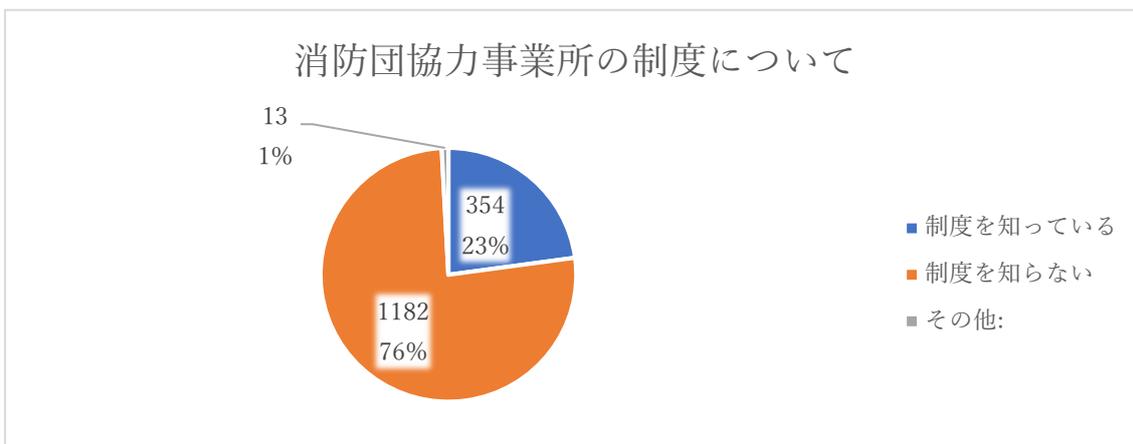
回答	回答数 (A)	A/1,549 人	割合
現状のままでよい	588	38%	30%
なでしこ分団が男性団員の防災活動の補助	107	7%	5%
消火活動	52	3%	3%
消防操法（男性団員と同じように毎年実施）	35	2%	2%
災害時の避難所運営	231	15%	12%
住民の避難誘導	212	14%	11%
行方不明者の搜索活動（補助）	104	7%	5%
わからない	648	42%	33%
その他	37	2%	2%



その他の意見

何を行っているかあまり知らない。
実際の災害、消火活動で出動をしないのなら必要ないかと思う。
自分達がしたいことには参加したらいいと思う。
広域消防がしたらいいと思う。
男女関係なく同じ活動をしたらいい。
男性団員に足りないところをしっかりと補助していただければ。
火事の現場で見たことが無い人達が何を教える事が出来るのか？教わる側も真剣に聞いているのか疑問。
少しでも危険を伴うことは男だけでやればよい。
時代の流れ的で分ける必要はない。
大規模火災等で、被災者へのケア。

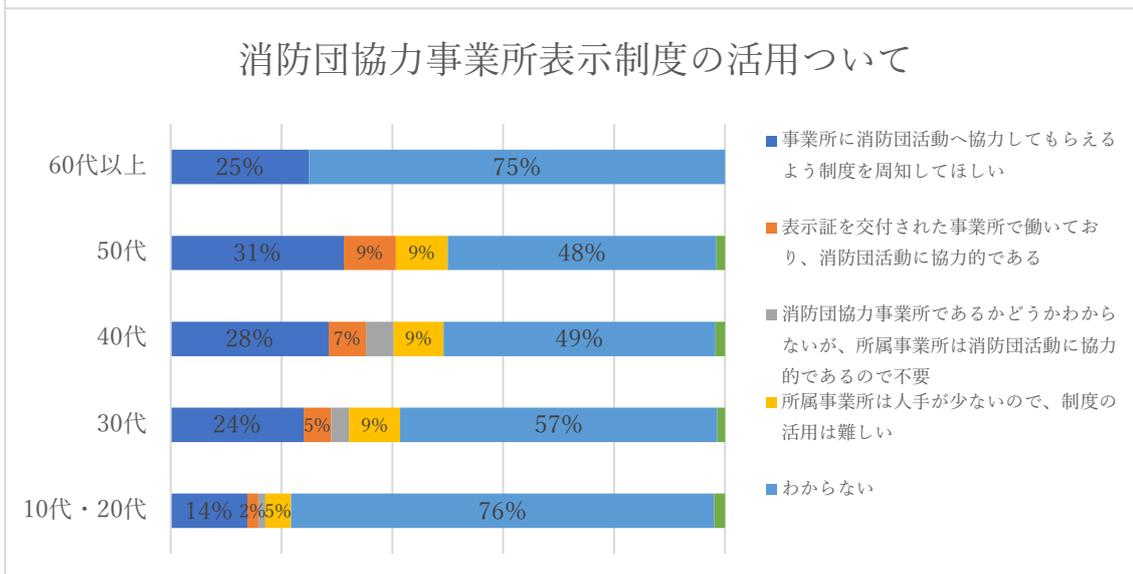
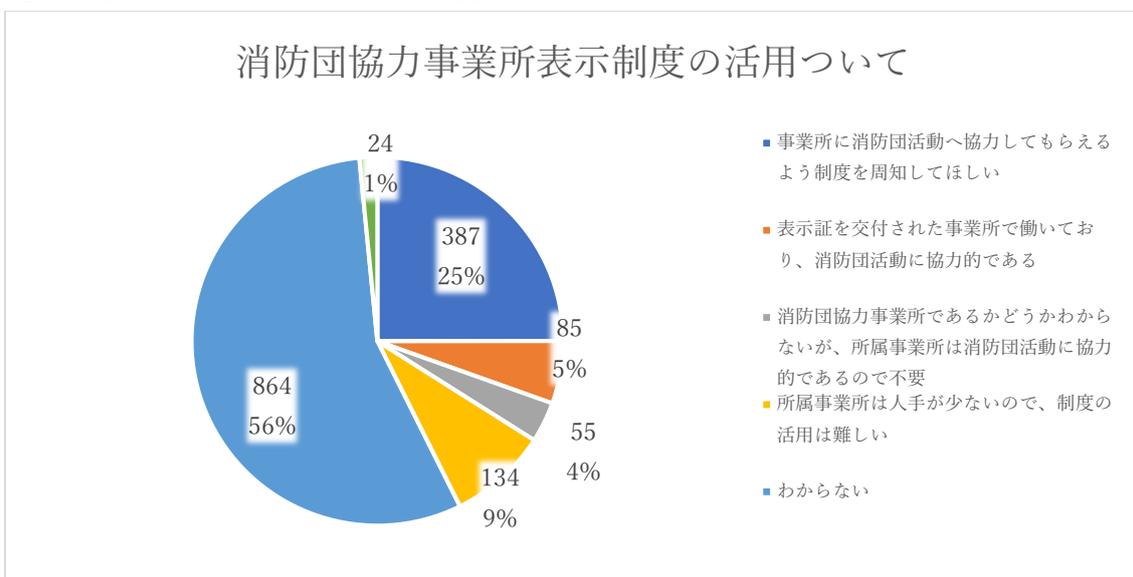
【問 28】 消防団活動に積極的に協力いただける事業所を、消防団協力事業所として認定し、その証である表示証を交付する制度があります。消防団協力事業所表示制度について



その他の意見

聞いたことがある程度。
制度があっても認定されなくても良い。
称号は必要でない。
制度は知っているが形だけになっているような感覚はある。出勤すると早退扱いになったり、上司が消防団の活動を理解してなかったりする。
その証があれば会社に何のメリットがあるのか。
表示証があるから何？仕事を減らしてくれるのか？
自営業には関係ない。
頑張ってるところは評価すべき。

【問 29】 消防団協力事業所表示制度の活用について



その他の意見

制度のメリット、効果がわからない。
民間に頼る前に、市役所職員全員がまず積極的に消防団に参加すべき。
協力事業所で働いていたが、個人責任で任されていて協力的とは言えなかった。
県外の場合でも可能か。
事業所の仕事内容も様々なので、色々な形で協力してもらいたい。
協力事業所であっても子育て働く世代の消防団員が、職場を抜けて行くことは簡単ではない。
事業所側に税制面で優遇があったり、補助金があったりするなど何かしらのメリットがないと、導入する企業も増えないのでは。また導入していても、活動に協力的かどうかは不明だし、メリットがあれば協力的にせざるを得なくなるはず。中途半端な表示制度は団員に負担をかけるだけ。
会社員の頃は協力事業所に勤務していたが、協力的であった。
実際にしっかり機能しているのか確認して欲しい。
協力的の定義がわからない。
消防団をなくせばこのような制度も必要ないのでは。
表示証は交付されていないが、消防団活動に協力的。
本職がいるからいらない。
見せかけだけの制度なら不要。

【問 30】 南海トラフ巨大地震のような大規模災害が発生した時には、自衛隊や警察庁、消防庁等一定の支援はあるものの、消防署の職員だけでは十分に対応できません。あなたは、そのためにどのような対策が必要だと思いますか。

回答	回答数 (A)	A/1,549 人	割合
消防団員数を増やす。	189	12%	10%
消防団の装備を強化する。	292	19%	15%
消防団 OB を活用した機能別消防団を結成し、消防団との連携を強化する。	362	23%	19%
自主防災組織の活動を活性化し、消防団との連携を強化する。	483	31%	26%
自主防災組織があるので、消防団は現状のままよい。	131	8%	7%
わからない。	434	28%	23%



その他の意見

自分たちも被災している中で、家よりも周りを優先は無理であろう。もっと違った解決法を考えたほうがよいのでは。
消防署員を増やす。
自分の身は自分で守れるように普段から災害に備えるよう啓発する。
その時、仕事を続けられる人は少ない。
全国にある災害ボランティアチームとの提携を結ぶなど、事前に連携をして、災害時に素早く動けるようにする。自主防災活動をする人に向け、チェーンソーの使い方などの災害時に使える技術習得の講習会。
地元の人たちとの連携。
居住者で対応出来るように実居住消防団員で再編した後、消防団OBを活用した機能別消防団を結成し、消防団との連携を強化する。
一般市民の人達に避難場所や避難の仕方を周知徹底し、何を優先するかをわかっもらう活動をするべきだと思う。
幽霊団員を退職させ、本職の人員確保に予算を回し、消防署の職員を増やす。
逆にそれだけの大災害の時点で自分の命を維持しながらの活動が出来るか？消防団の強化よりも、市民個々の災害に対する意思を強化しないと無理だと思う。
本職を増やし、公務員等も徹底して強化する。
隣保単位などでの家族構成の把握や行方不明者などの確認のため、防災用品の配布や非常食の配布を行う。防災用品や非常食は医療費控除の対象になれば良いと思う。
人命優先の消防団活動をしていることを、市民や会社に周知してもらうことらで、出勤しやすくなる。今のままでは会社に出勤する必要がある。
市で行っている防災訓練より、より小さい単位で訓練や防災グッズの準備の啓発等を丁寧に行う。
大規模災害を想定した訓練の実施、それに対する予算の拡大。
消防団は名前の通り火事に専念するべき。大災害は地域の全住民の防災として区別する

べきと思う。何もかも消防団にするのなら名前を変えて手当も増やすべき。
消防、警察、自衛隊の増員しかないと思う。
人数を増やすのは不可能なため消防団では限界がある。
そのレベルの災害が起こったら近所との協力くらいしかないと思う。人が減って高齢者が増える現状では、自主組織や消防団は機能できない。
災害時に活動できるような訓練をしてない。自分の命、家族を守ることで精一杯。多くを求めないで欲しい。
職業消防士を増やしてほしい。東日本大震災では、ボランティアの消防団員に 200 人弱の死者がでた。保証がない中で、ボランティア死んでしまったら損。黙祷されても、ありがたくともなんともない。
ただ増員するのではなく、今の団員に知識をつけてもらう。
実際に起こった時のマニュアルなどが有れば参考になると思う。
災害に強いインフラの整備。
消防署職員の人員配置や人員数に関しては、消防団や一般に関係ないと思う。雇用は国、県、市が配置するもの。消防団活動としては、まず備えの促進とできる範囲での支援活動しかできない。消防・救助活動のプロではない。
消防団に何か役割をもたせるのであれば、その訓練を行わなければ現状、対応が困難だと思う。
市単位でするのか淡路島三市でするのかは分からないが、消防団組織を改革し、災害時に活動できるような組織に改革する。
知識が無い消防団員が、被災地で何ができるのか？2次災害に至る可能性を考慮しているのか。
操法大会、練習や夜警など日頃の負担を減らして災害に遭った時、どう対応し行動するかなどを訓練するなど実際にありえる事に対して対策を行う。災害避難所の運営など経験したことの無い人ばかりのはず。
大規模災害時消防団がどこまで関わって行くのか明確でない。常に 1000 年に一度の災害の為に、それに必要な団員を確保する必要があるのか疑問である。災害を受けた地域でも消防団がない地域もある。
大規模災害時対応のため災害時に対応する消防団員の確保が必要と考える。大規模災害時のみであれば地域のために対応する人員は確保できると思うが、通常の操法や夜警への参加が負担であるため、消防団に参加する人員確保が困難である。操法や夜警の負担を軽減すること。操法大会は自由参加。初出はリモート。夜警は最少人数。
消防署を増やす。現在広田の元役場の跡地に設置すれば良い。南あわじだけ 2 箇所。他の市はもっとあるのにおかしい。淡路島から若者がいて欲しいなら、公務員から改善すべきだと思う。他の企業に求めるより、国や県が改善すべきだと思う。
分団ごとに、地震、津波を想定した訓練を行うべきだと思う。

<p>消防団というよりは、各地域の住人の意識向上・住んでいる周りの人との連携についてもっと時間を割くべきである。</p>
<p>隣同士で助け合うような意識付けを行っていく。特に分譲地等に新たに家を建てたところは、自治会にも加入していないような所が多いので、自治会への加入も含めて、近所の繋がりを強めるような啓蒙活動などを展開してはどうか？</p>
<p>消防団に依存するのではなく、市にはもっと全体を見た対策を取ってもらいたい。</p>
<p>自分が被災したら、参加しなくてよい。負担が多いので。</p>
<p>活動するのは賛成だが、災害時は危険なところに行かない。まず避難。自分の命 1 番とこのを徹底してもらいたい。</p>
<p>国の防災組織の増強、自衛隊は軍事を縮小し防災組織として特化させる。自衛訓練などは何の生産性も生まない。戦争となっても機能しないものに税金を投入しすぎ、国内の災害などに重点をおく組織に生まれ変わるべき。</p>
<p>大規模災害になると、消防団を増やしても機能しない。市民全員で動く必要あると思う。</p>
<p>大規模災害などは地域の自主防災に移行すべき。有事の際に何人活動できるかもわからない。その上で高齢者の避難補助など出来る事をやるべき。</p>
<p>分団ごとの人口比率に応じた団員数にして欲しい。年齢的な配慮も。</p>
<p>地元のコミュニティーを活発化させる。</p>
<p>まずは自助の充実。そのために行政や消防活動が個人、家庭に働きかけること。</p>
<p>危険なので嫌々している人がいる以上は、勝手なことは言えないのが本音。</p>
<p>役場の職員が頑張るべきでは？消防団に頼りすぎていないか。消防団もいっぱいいっぱいだと思う。</p>
<p>消防団員はボランティアのような存在だと思うので、大規模災害等の際に団員に対して多くを求めても無理があると思う。消防団の装備の強化、別機能との連携、どれをするにも団員への負担が増える事なので団員数も増えず、災害の際には人手不足になると思う。操法、年末警戒、夜警などの消火活動、防災活動とは直接的に関係の無い事は辞め、最低限の消火、防災活動にする事で団員への負担を減らし消防団の人数を一定数確保する事が大事だと思う。</p>
<p>消防団員に限らず、一般市民も、災害の情報を共有、発信できるようなアプリを利用（開発）して、災害時の写真をアップロードしたり、メッセージを打ったりしたのを、大勢が共有できる仕組みを用意する。災害時に利用するためのガソリンを保管。</p>
<p>消防団員とか関係なく地域の人にも手助けしてもらわないと、団員だけでは対応出来ないと思う。</p>

【問 31】 その他、ご意見等ございましたらご自由に記載ください。

操法大会はなくす、もしくは縮小してほしい。そのかわり実践的な訓練をやってほしい。
定年制等考えてやってほしい。なんでも半強制は辞めて欲しい。
消防団を解散して広域消防を拡大するほうが現実的では。
少子高齢化社会、地方や地域が衰退していく中地元での就職先も少なく、地場産業の農林水産業の衰退、後継者不足。こういった状況の中県下最大の団員確保をしているが、限界集落では還暦を迎えても退団できない分団も少なくない。必要な組織だと思うが現状このままで良いのか？広域消防職員をもっと増やし専門職プロ集団を確保していく方が効率良く雇用も生まれる。今後未来が危機的状況。
長男であれば消防団へ入団してあたりまえという風習があるが、入団が嫌で地元を離れる人もいる。過疎化の要因になっているのではないか？
無駄な活動が多すぎる。操法は本当に無駄。なぜ農繁期に大会を開催しようとするのか。南あわじ市の主要産業は何か。主要産物は何か。常識的に考えるべき。産業を衰退させる事に加担している事を知ってほしい。出初式において極寒の中屋外での服装について意味のわからない制約を設けているが、出初式に出席したがために体調を崩した団員は多くいる。団員の仕事に悪影響を与えてどうする。
操法大会とそれの練習が無いだけでも、相当の負担減及び新入団員の確保に繋がると考えられる。実践的訓練及び講習は各分団に任せ、報告書を提出させる。
昨年の防災訓練では感染症対策を万全に実行するとされていたが、全く対策できてなかったと思う。先の設問でも答えたが、家に小さな子供がいたり高齢者がいたりする家庭は、このような行事参加はしたくないのが本音。しかし無言の強制をしているのが今の消防団の体質である。感染症対策を徹底するとともに、行事の参加の可否をもっと自由なものにするべきだと思う。
操法を無くして欲しい。
消防団というあり方そのものへの変革をお願いする。ただ、人数を増やすだけでは意味がなく、意識のある団体である必要がある。また、現在は会社員などが多いため、火事・災害時に本当に動けるのかどうか、そういうところも考えていただきたい。
分団統合すべき。操法大会に何度も同じメンバーで出る負担あり。欠場もやむ無し。30年を越える団員ばかりになる前に分団が機能しなくなるだろう。広域消防の拡充に力をいれるべき。
人口に対して団員が多くて困る。早く合併してほしい
体力的に操法に参加することが無理。
結果集計後の公開・的確な改善がされるかを注目する。
コロナ禍の中で、年末警戒の夜警を実施した意味がわからないし、説明がないのはおかしい。
ボランティア活動としての地域の消防団は必要とは思いますが、団員への負担は大きい

<p>と感じられる。U ターンの就職が減少している要因の一つのようにも感じる。分団ごとに意見は分かれると思うが必要最低限の活動は必須として操法活動、初出式等は任意での参加として欲しい。若い世代が入団したいと思うような報酬も必要だと感じる。</p>
<p>早く退団したい。</p>
<p>ちゃんとした勧誘や退団ができる環境をお願いする。</p>
<p>先の設問でも答えたが、普段から放水活動もしているので操法大会は不要。水を出すことに対して、なぜあそこまで細かな動きをして水を出すのかが理解できない。</p>
<p>定数が多い。人数を減らして所属年数を減らしてほしい。このままだと、誰も入団しなくなると思う。市からも、新入団の呼びかけをしてほしい。市役所の人達で消防団の様な部署を作り、活動すればいいと思う。ちょっと考えてほしい。</p>
<p>消防団員の高齢化に、何か対応が必要だと思う。</p>
<p>今年入団してまだ新入団員訓練しか行ってない。わからない事ばかりなのであくまでもイメージで答えた。</p>
<p>住民が少なくなっているので消防団員の人数を減らしてほしい。方面隊の人数が決まっているとか関係ない。その分団が所属する地に住む人数で考えて欲しい。いつ消防団から抜かれるかわからないので、退職金をもらうのが死んでからになるかもしれない。なので一定期間過ぎると退職金ではなく、他の手当として振り込んで欲しい。</p>
<p>実状にあった活動に出来るよう地域毎に細分化した活動内容に変更すればどうか。</p>
<p>1、社会全体に高齢化に伴い、団塊の世代の方にいかに協力してもらえるかの工夫が必要ではないか。2、世間一般的な報酬額に見直す必要があるのでは？低すぎる。3、曖昧な入団要否をはっきりさせてほしい。現状は地元出身者の善意だけで成り立っている。</p>
<p>何十年前から一緒のことやっているのでは？時代は変わっている。</p>
<p>報酬の割に要求が多すぎる</p>
<p>災害時以外の初出や操法の練習、飲み会などに必要性を感じない。団員も所属消防団が地元の人が少ない中、災害時にどれだけ役に立つのか疑問に思う。報酬も少ない、不要なイベントが多い、評判が悪い、この状態で新入団員を望めるはずがない。現状のままで消防団が存続できるとは到底思えない。</p>
<p>退団とか再入団は、本来の消防団の意味する地域住民の生命と財産を守ると言う事を念頭に考えて欲しい。各方面隊に任せたら今回の様に活動勢力が落ちてしまう。</p>
<p>あまり参加していないので、イメージでの意見。ほとんどの人は仕方なく団員をしている。なので、実際私も言われたが、「みんな仕事を調整してやっている」(あなたも仕事を調整して出てきなさい)のような同調圧力のようなニュアンスの事を言われた。そもそも仕事上日曜日の行事などには参加できないと伝えた。地域貢献等の志があって入団していたのなら、このようにはならないと思う。みんな参加するのが嫌なので、参加するのが損みたいになっているように思われる。こういう事は、基本的にこの制度の意味を理解し、賛同し自らの意思で参加するべきだと思う。災害や火事があれば、団員でなくても救</p>

<p>助活動や手伝いなどはすると思う。自分もそうだが、制度の趣旨を理解せず、周りに言われてなんとなく入団するから後になっておかしくなる。そういう人が、自由に退団できるようにして欲しい。「入れば最後、退団できない」という噂があるので、新しいメンバーが入らないと思う。退団がしやすければ入団もしやすいと思う。そして、そこで意義を見出し、賛同すれば残る人はいる。あと意味不明な飲み会、旅行は中止する。飲み会をしたい人、旅行をしたい人は100%自費でやればいい。参加しない人からお金を取るのは違うと思う。色々書きましたが、この先、消防団制度が先細って行くのは間違いないと思うが、一定数は意義を理解し真剣に参加している人もいるので、どうかその方々を中心に有意義な税金の使い方をしてあげて欲しい。</p>
<p>退団できる可能性がない。どうしたらいいのか？一生消防団員なのか？</p>
<p>コロナ禍なので活動事態自粛すべきだと思う。</p>
<p>今まで踏み潰して闇に葬っていた意見なので期待はしてないが、税金の無駄遣いにならないよう頑張ってもらいたい。</p>
<p>地方における消防団の必要性は理解してるので、今すぐ退団したいとは考えてないので操法大会、訓練については本当に負担が大きいので考え直して貰いたい。</p>
<p>入団当初はその地域に住んでいても、その後、結婚などで移住する場合がある。そのような人は今住んでいる地域では活動できず、すぐに駆けつけられない地域に行けというのは無理がある。</p>
<p>消防団にはやりがいはない。責務だけ。これは若い人には通じない。やりがいや見合うものが必要。</p>
<p>やり方が古い。なぜ若い子が入らないのか考えるのはそちら側。</p>
<p>そもそも必要性を感じないし、除名してほしい。</p>
<p>操法は不要。</p>
<p>消防団を無くせばいい。</p>
<p>消防活動することで自身の防災活動にも繋がると思うが、強制でさせられてると思われている操法は不要だと考える。プライベートな時間を削ってまでする必要はないと思えない。</p>
<p>できる限り負担を軽減、団員の縮小。</p>
<p>出動、訓練手当を個人口座に入金してほしい。また活動服の夏服もあれば。初出式も屋内、着座で行ってほしい。</p>
<p>日常のポンプ点検や年末警戒は必要だと思うが、操法だけは意味がわからない。実際の火事現場で役に立たないので、それより具体的に火事の現場ではどうすべきか本職による指導とかの方がよっぽど消防団や地域の為になると思う。また火事の知らせがあり、急いで仕事場から直行して作業していると、帽子や制服を着ていないと注意を受けたことがある。一旦家に帰って着替えて来るのか？火は刻々と燃え広がる。</p>
<p>うちの団員の中に宴会に参加できるから活動したりしてる人がいる。何のために消防活</p>

動してるかわからない。
消防団員の定員数の見直しと現団員の OB 制度の考慮。
大規模災害(南海トラフ地震や広域的な水害等)が発生した場合、各地区へ必ず防災倉庫を設置することや避難所の柔軟な開設、人命救助に使用できる資機材等、災害時に必要なハード面での充実と、それを扱うことができる人材が必要であると思う。消防団のみでなく町内会等を自主防災組織として位置付け研修することや、活用使用方法等を十分に周知し、啓発することが必要だと思う。
現在の定数を維持しているために何年後に退団できるかわからない。定数変更などの抜本的な改革をお願いする。
人口が減ってきているのに各分団の配置人数の定員がおかしいと思う。ある程度の人数確保は大事と思うが現実的な人数ではないと思う。操法大会もアンケートにあったが、操法をしたい分団だけで実施したほうがいい。これは南あわじ市に限った話ではなく全国的な話だと思う。
名前だけの団員をどうかしてほしい。現団員の 50 歳を越えた人は退団させてあげたらどうかと、強制的に退団できないのは可哀想である。
消防団は必要だと思うが、特に操法は出たい人で組んで各方面隊の代表で出たらいいと思う。
自分の地域は他の地域より人数が少ない為、他の地域では出来る事も困難な状況があるのでその辺の配慮をお願いしたい。
団員が高齢化している。いつまでも活動するのに限界があるので、合併を含めた団員数の見直しを行ってほしい。
入る人がいないのでなかなか退団できない。
なぜ市役所職員、その他公務員が積極的に入団、活動していないと思う。できるだけ入団するシステムを作ってほしい。もう少し積極的に活動してほしい。
南海トラフ巨大地震などの大規模災害に対する必要最低限の知識や危機感などの共有と意識改革。全体の底上げ。
操法大会、操法練習の負担が大きいため、廃止してほしい
辞めたいが辞めれない。
操法や行事などをやめてほしい。もっと手当てや補助金を増やして魅力、やりがいを増やしてほしい。
分団本部の存在を認めていただき、その活動に係る経費や報酬を別枠として作って欲しい。また、地域消防の在り方をもっと強制力のあるものに整えることが必要であると思う。例えば、各企業単位で地域消防への加入を強制したり、未加入世帯には市税の増額をしたりする等。真面目にやっている者がバカを見るような状態では今後、活動そのものが不可能になりうると思う。今回、この様な各団員の意見を聞いてくれる機会を設けてくれたことは大変有意義なものになると思うが、この機会がただアンケートの回答と確認の

<p>みで終わってしまえば、何も意味を成さない。地域消防のあり方を変えるには市政や危機管理の働きが大変重要であると思うので、大いに期待する。</p>
<p>このようなアンケート自体が時間の無駄だと思う。</p>
<p>南あわじ市の職員自体が消防団に入っていない人が現状いると思う。その時点で民間企業に努めている人に市から推進できるのか？役場に勤めていて入らなくてもいい消防団組織なら、人数減少または解散をしてほしいと切に願っている。まずは南あわじ市職員から率先して消防団活動をしてもらいたいと思う。</p>
<p>そこまで操法や初出を続けたかったら、参加した人に練習込みでもっとお金を配ったらよいのではないかな？</p>
<p>消防団の活動はほとんど土日なので、休みがとりにくいサービス業従事者である自分はなかなか参加出来なくて辛い。</p>
<p>とにかく形式的な行事はやめてほしい。実際の消防現場に必要なスキルを身につけられる取り組み。人間関係が全てうまくいっている訳ではないので、消火活動能力などはうまく継承されていない。その結果どんどん人間関係の溝が深まり、幽霊部員が増えている。若い人でも積極的に参加出来るような風土作りが必要。ダラダラと長時間、訓練や活動をしていると私生活に影響が出る。このアンケート結果、集計をしっかりと公表し、実状を世間の方に知ってもらい、大きく改革してほしい。</p>
<p>市の職員なのに嫌だからと言う理由で消防団に入らない人に対して、公務員が率先して入るべきだと言うべき。民間人は嫌でも人数が足りないからと頼まれて入っている人、地域の為に仕方なく入っている人がいる。それなのに、市の職員が入らないなんてあり得ない。ちゃんとチェックして指導してほしい。改善がないようならこの事を公にしないといけない。</p>
<p>初出式や操法等の無意味な慣習を無くして欲しい。あるいは参加したい人だけでほしい。</p>
<p>消防団や地区への負担が軽減できるよう検討してほしい。操法・夜警・初出など、無駄な部分はかなりあると思う。</p>
<p>団員数維持の為に幽霊団員はいらない。</p>
<p>負担が大きい。</p>
<p>地元の消防団の一部の方が、消防とは違うことまで色々言うのがすごく残念。</p>
<p>操法は練習から選手でなくても、教える側も負担でかなり苦痛。</p>
<p>今まで慣例的に行われていたことに対して、こうしてアンケートを取って、意見を聞いてもらえることは非常にうれしい。南海トラフ地震や異常気象による災害から地域を守るために消防団は必要だと思うので、存続していけるように不要な行事等は無くしていき、団員の負担を減らしてほしいと思う。</p>
<p>定年制度を設けてほしい。定年がないので、代わりの者が入らないと、死ぬまで消防団員のまま。年齢が上がるにつれ、本業でも役職がつき地元の役職もあたり家業も主としてや</p>

<p>っていかなければならないのに、その上消防団を続けなければならないのなら身が持たない。退職金の算定方法を示してほしい。退職金の部分払いをしてほしい。本人が死んでから退職金をもらっても、本人が使えないため。新入団員の勧誘は危機管理課でしてほしい。勧誘に行っても、そんな人はいないとか、元々別の地区に住んでいたのにこの地区の消防団には入らないと断られる。区長からの要請は危機管理課を通して、消防団に依頼するようにしてほしい。大雨洪水警報が発令されているのに、三原川が氾濫しないか堤防で見張るとか、大雨の中土嚢をつくり、溢れそうになっている三原川堤防に土嚢を積むとか注文が尋常でない。そのうち、殉職者がでる。地元を離れて、他府県へ転出してでも退団できないのは、ブラック企業と言える。退団したければ新入団員を連れてこいというのは、ブラックアルバイトと同じ。憲法により職業選択の自由があるのに、消防団から自由に脱退できないのはおかしい。</p>
<p>個人で仕事をしている人への補助が足りない。</p>
<p>幽霊団員出ないように徹底！</p>
<p>初出が憂鬱。前日からストレスで体調不良になり、当日嘔吐が酷く欠席したときがある。毎年密状態で1時間以上待たされ、インフルエンザ感染の危険性もあったにも関わらず初出ではマスクの着用が禁止されていた。令和3年に予定していた初出ではマスク着用が義務付けと聞いた。調子が良すぎる。そもそも感染リスクが全くないのであれば、論文を書いて世界的に発表すべき。今後初出においてインフルエンザやコロナを感染した場合、因果関係の証明はできなくても可能性があれば医療費や仕事をしてる方の休業補償などはあるのか？広域消防の方とは違って、消防団員は非番もなく24時間365日待機しているようなものなので、その分の報酬をいただきたい。消防署の職員の月給を日割りした金額×365日分。消防団員としての規律を守るよう強要するのであれば、そちらもいろいろと筋は通して欲しい。</p>
<p>三原川は深く広くするのが水害を減らすのに大事である。旧三原町の人々は良いが、旧西淡町の農家等は水害に恐怖を感じているので、市役所周辺の川の工事をするべきである。</p>
<p>自営業は家にいるから、活動に参加しろ！は、収入を捨てろ！と言っているのと同じ事。代役のいない悲しみを理解してもらいたい。一部地域の消防団の高齢化を真剣に考えてほしい。</p>
<p>操法さえなければ、団員はもっと増える。</p>
<p>いつまでも無意味な操法活動に時間と予算を当てるのはナンセンス。災害時に本当に意味のある活動をしてほしい。</p>
<p>新入団員不足、活動の継続が課題であるため、将来的に合併も検討していくべきと考える。</p>
<p>災害は自らの身は自ら守るのが大前提だと思う。非常時に生き延びるための方法は地域の特性でバラバラなので、しっかり身につけることが大切。</p>
<p>操法大会が全ての重荷の1番の原因だと思う。改革願う。</p>

既に活動人数に限界が来ている。早急に対策してほしい。
このようなアンケートをしなければ解散をしなければいけないことを分からない組織がそもそも間違っている。
団員に対する運転免許取得の補助や、チェーンソー・エンジンカッター等を使用するための資格取得の補助。
無駄が多過ぎるので、もっと合理的であるべき。また、仕事の都合上週末の活動参加が難しい人間がいるということも考慮してほしい。
操法は本当に必要ない。消防車を操法用に改造している分団がある。それは本来の消防車の意味を考えているのか？夜警を年末のみする必要あるのか？年末のみならする必要ない。初出式も必要ない。
報酬が少ない。今年初めて個人支給される案内を見たが、あまりに安く、国の目安を大きく下回っていてガッカリした。この支給額なら今まで通り分団に振込される方がまし。
とにかく操法の練習、大会をやめてほしい。
報酬が少ない事や出勤・訓練手当の個人口座への入金がない事や、操法大会があることで入団する人が少なくなっている事や、操法大会のかわりに訓練等で対応してほしい。
操法や夜警、初出などが嫌で地元を離れる若人が増えている。入団に関しても強制感からかハラスメントを感じている人が多い。いつ抜けれるか分からない消防団に誰が入団するのか。定年退団を最高でも40歳と設けるべき。
消防団という存在があるから地域住民は頼りきり、危機意識が無いのでは？解体してしまえば個人の責任で自らの命と財産を守る事になり、結果的に優秀な人のみが残る良いのでは？
消防団の役割をもう少し明確にする必要があるように思う。火災時には、かけつけた後にどうするのか。台風時は、地震発生時は、避難所開設時はなど消防団がなぜ必要かマニュアル化自体難しいかもしれないが、各分団がどう対応しているかなどの事例など情報共有してもよいのではないか。
本当に必要なものと、必要でないものを判断する時期だと思う。今しなければいつするのか？
そもそも無駄が多い。操法大会は最たる例。大会の必要性を教えてください。また、台風時の屯所待機も意味が分からない。携帯の普及したこの時代で自宅待機がダメな理由を教えてください。携帯電話を知っているのか？
コロナ禍での年末夜警、初出式は中止して欲しい。
選任分団長や団長になると仕事に関係なく出勤しないといけない。負担が大きすぎる。
地区ごとに団員の定員がある為、50歳近くなっても退団できない。
幽霊団員をどうにかしてほしい。団員人数を減らしてほしい。
ポンプ車操法の演技の練習の為に、費やす時間と労力が無駄に感じる。肝心の時に消防車

<p>を操作して放水出来る団員が、実際には殆どいない。もっと地域のため、もしもの時のためにすべき事をして欲しい。</p>
<p>今年度の操法大会や放水訓練などが中止や延期にはなったが、わざわざ大人数を集めるようなことを今やらなければならないのか疑問に思う。医療従事者や介護従事者など、日常生活の中の自粛を他の職場より強く求められる職場の人もいるということを理解してほしい。大会や訓練をすとなれば、それを理由に参加しないというのも言いづらいし、参加すればコロナ禍のマナーを守れない人もいる中で活動をしないといけない。消防団活動を何もしないというわけではなく、必要最低限の活動を低リスクで実施してほしい。しばらくは各隊少人数でできる放水訓練や点検作業だけでいいのではないか。またこれから台風シーズンに入るので屯所待機は自宅待機に変更してもらいたい。長時間の密な待機になるので、待機中にクラスターをおこしては何をしているのかわからなくなる。</p>
<p>防火性能の高い建築物が増えるなか、過去から現在迄に火事の発生率が、どのように変化しているのか見る必要がある。減少しているのに、団員数を数字の上で無理矢理維持させているのは、怠慢でしかない。戦後と勘違いしているのではないか。税金を捨てているようなもの。地域別に再編、合理化し意味のある組織に変える必要がある。状況によっては、消防団を廃止し浮いたお金で広域消防を強化するのもありではないか。</p>
<p>操法大会は自由参加とすること。</p>
<p>消防に限らず色々な役職が多い。選任分団長など廃止して欲しい。精神的に負担になる人もいると思う。</p>
<p>県職員の消防団入団は、不可なの？特に指導者の先生など。</p>
<p>幽霊団員を排除してほしい。出てこないのに団員報酬や退団金を支給するのはおかしい。</p>
<p>消防団は個人の負担が大きい。</p>
<p>もっと若い世代が消防団に入っても、無理のないような状態にすべきだと思う。今から入る若い世代の子は、いつ退団できるかわからない状態。これからどんどん増えてくるので、これからの改革をお願いします。</p>
<p>消防のあり方についての不平不満はよく耳にする。必要な活動とは思いますが、このようなアンケートを通して、時代に合った取り組みを考案してほしい。</p>
<p>人員確保、操法大会の必要性は全国的に問題になっていると思う。操法大会の必要性は本当に疑問。操法の練習する時間をなぜ実訓練に切り替えないのか。人員不足とずっと前から聞こえてきてるはずなのに、定員数確保を重視するあまり、幽霊団員を増やすことになったと思う。もっと前から考えるべきことばかりだと思う。</p>
<p>契約書も交わさず団員にしたり、自由に退団出来たりしないのは不当。魅力があれば入団しても辞めないと思う。その組織の魅力づくりや報酬を検討してはどうか？私はできるなら仕事の関係上退団したい。</p>
<p>団員の定数が多すぎるので、団員確保が大変。</p>
<p>現在コロナ緊急事態宣言中なので、活動、会合を行おうとしている分団があるのであれば</p>

至急中止をすべき。クラスターが起これば誰が責任をとるのか？
今まで散々活動させ、更に活動しろと言われても無理にも程がある。今まで地域防災に真剣に取り組んできたとは程遠い。放置して臭いものに蓋をして形ばかりのアンケートで済ませるんでしょね。
医療従事者や夜勤業務がある方に消防団は、本当にきつい。身体をいち早く壊すと思う。もう少し考えてほしい。
団員報酬を個人振込にしたら、名前だけで参加してないのにお金だけ入る。辞めずに名前だけおいとけばいい稼ぎになる。ちゃんと調べるべき。
操法大会及び練習は現代に合っていない。若手の入団の妨げになっている。ポンプ練習ならもっと効率的な方法があると思う。それを気づいて変えれないなら、消防団本来がすべき役割をこなせる未来はない。
何歳までやればいいのか？
消防団員が年々減少しており地元に若者が少なくなっている。しかし、団の行事は昔から変わらず、現在の団員には負担が大きくなっている。
操法大会の負担軽減、お願いしたい。
操法大会の廃止。
ホースの連結訓練などをすると、待ち時間だけが長く待たされることがある。これは一例だが、全体的に非常に効率が悪く感じる。操法大会も負担が大きい。出場する団を絞ったり、隔年開催にしたりしてはどうか。消火活動だけでなく、地震や水害が起こった時に対応できる訓練を積極的に行った方が良い。訓練だけでなく、災害が起こった時団員がどう動くか、避難をどのようにしさせるかなどを、ハザードマップを見ながらシミュレーションするといったことを進めていくとより有意義であると思う。今のような活動では、地域に貢献しているという感覚が得られず、衰退する一方だと思う。
やめるべき。周りの時代を見て。必要か？
台風時の待機命令ですぐに準備して屯所へ待機するのに、台風が過ぎてからの解散待ちまでが長すぎてかなり負担になっている。警報解除までではなく、台風が過ぎて安定した天候になれば自宅待機でお願いしたい。
操法大会の負担が大変。
消防団は飲み会やどんちゃん騒ぎばかりしてるのではない。時代も変わり、どの分団も地域の人々ために活動している。
今の分団は、幽霊団員が数名いるので、定数削減をお願いしたい。
はっきり本心を回答した。
活動している人をもっと優遇すべき。
団員の確保が難しい。新しく入ってくる人の感覚等も昔とかなり変わっていると感じる。その中で同じ人数を確保は大変難しい。

<p>操法は火災現場でも安全確認の癖が染み付いている。放水止めとか基本操作の共通認識を持てるので良いとは思いますが、それだけに注力し過ぎるより、水害対応(土のう作り、積み)、家庭内での防災知識の普及(寝室の枕元に不安定な家具やテレビを置かないとか、災害時、停電時に起こりうるできなくなることを前もって知ること等)とかそういうのを2年に1回はした方がいいのではないかと思います。</p>
<p>火災や風水害については、自分事であると考え事が出来る人材育成が必要だと思います。</p>
<p>人数が少ない為なかなか退団出来ない。</p>
<p>消防団の運営は限界にきている。抜本的に見直す必要がある。国などの上部組織に右へならえは勘弁してほしい。</p>
<p>現在 53 歳。いつまで、団員でいなければならないのか？若い人もいないので、正直しんどい。</p>
<p>このアンケートを意味のあるものとして活用してもらいたい。</p>
<p>分団数が多く、必要団員数が地域の現状によっては重くのし掛かってきている地区が多い。その為団員の高齢化、活動が出来ない幽霊団員などの存在が見受けられる。提案しても改善されない過去があるため、今後速やかに適正規模の組織運営になるよう改善を強く求める。</p>
<p>消防団に若い子が入らない、元々消防団に所属してないのは各自治体の規模の大きさで分かるが、元々地元の行事に参加をしたくない人、できない人もいると思う。もう少し報酬を上げて消防に入団したほうが良かった。とか思えるようにしないと、来ない人のほうが得してるのが駄目だと思う。上がしっかりしなければこのようなアンケートしてもなんも意味がないと思う。</p>
<p>消防操法大会、練習は実用性がないので不必要。</p>
<p>台風や災害などで出動するのは全然いいが、操法があるのは嫌。そう言う人は結構いると思うし、操法があるから入らない人も多いと思う。それだったら実践で使える消火訓練とかする方がいいと思いい。</p>
<p>消防団のイメージが悪く(宴会等)まじめに活動していても、同じ様に見られるのは勘弁してほしい。</p>
<p>辞めたいのに辞めれない。人数の多い分団にしわ寄せが来ている。負担が大きくなってきているので、実態にあった組織でないと活動維持できない。早急に対応して欲しい。</p>
<p>台風時の消防の詰め所待機については、住民は危ない所に近付かないようにと市から指示がある中、詰め所に集まり地区を巡回したりしているが矛盾してると思う。</p>
<p>ポンプ車所有の分団の負担が大きすぎる(特に操法大会)ため新入団員が集まらないのはあきらかなので早急に制度改正、対策をしてもらいたい。</p>
<p>分団によって人口比率や年齢等適正な人数配置を考えて欲しい。定数の兼ね合いがあり親子で入らなければいけない現状は不公平。</p>
<p>初出、年末警戒、消防操法は不要である。</p>

<p>操法大会、初出は全く無駄なので即時辞めて欲しい。無くならないなら1,2年のうちに退団する意向。</p>
<p>できる限り早く退団させてほしい。</p>
<p>時代の流れとともに消防団に関わらず、地域連携の意識が薄れている。割り切って何の活動にも参加してない人と負担だが、頑張って参加している人がおり不公平感がある。難しい事だが、皆が積極的になり参加できる仕組みを考えて欲しい。</p>
<p>今後、新入団員が見当たらず定数を確保するために何歳になっても団員として活動しなくてはならない現実があるので、年齢又は年数での定年制などを検討してもらいたい。</p>
<p>アンケートを取るのであれば、必ず各意見を活かして欲しい。</p>
<p>どこの地域も人数確保が厳しい状況。</p>
<p>操法大会、練習の必要性を全く感じない。実際の消火活動に役立つのならまだわかるが、全く役に立つと感じない。完全廃止にするべき。もしそれでもやると言うのなら、かなりの報酬がないとやる気にならない。操法が原因で消防団に入らないとゆう人もいるぐらいなので、本当にいらない。</p>
<p>大きな改善するなら今かと思う。消火活動は誰でもできることでは無い。訓練を受けたプロがやるべき。それにより救えるものは増えると思う。</p>
<p>操法大会はしなくていい。したくない。</p>
<p>消防団があることを前提とするが、地域住民に頼らない消防体制の強化を望む。</p>
<p>現状では真面目な人間が損をしている状態。正直、消防団活動に行ってるのがバカらしい。</p>
<p>団員を増やすには普段の活動において、必要性のある情報を享受できる場所にするべきだと思う。例)南海地震等に備えて防災時の災害対策の危機管理意識を向上させることができる情報を話し合う等。</p>
<p>操法、夜警、パトロール、初出不要。点検と火災等の出動だけでいい。</p>
<p>若い人がいないので、いつまでも辞めれない。</p>
<p>消防団活動をするにあたってやはり若者の減少、入団拒否。操法が嫌で入らないのが最大の理由だと思う。そのことにより団員の高齢化で操法練習中に怪我などが多くなってきており、仕事に支障をきたす出来事が起こってる。</p>
<p>アンケートの見える化と結果を、必ず反映願う。アンケートの意味がなくなるので。</p>
<p>歳を取って操法をするのが辛い。いつまでしたらいいの？</p>
<p>団員の人数を減らしていく。</p>
<p>消防団に入りたくなる宣伝をしてほしい。</p>
<p>操法より1日で身のある訓練などの方が良い。</p>
<p>消防団活動は何においてみ待ち時間が長く、時間を取られるので簡素にしてほしい。</p>
<p>消防団に頼りすぎではないか？</p>

<p>代わりの人が入らないといつまでも退団できない制度はおかしい。そのうち参加できなくなって幽霊団員になると思う。</p>
<p>火災や自然災害なら仕方ないが、急を要さないもの、年末警戒、初出等コロナもあるのですぐにでもやめてほしい。消防団ならコロナにかかってもいいのかとすら感じる。市の指示で感染症対策をとるように出ているが、守られてないのが実状で指示を出せいと無責任に感じる。昔からのこの体質を今こそ変えてほしい。</p>
<p>操法大会を淡路市のような選抜制にしてほしい。</p>
<p>市役所の職員が夜警しかこないのはおかしい。率先して活動する仕組みにすべき。</p>
<p>操法で失敗し、人前で恥をかきそうで嫌なところがある。</p>
<p>操法があるから入団したくないという話はよく聞く。団員確保のために、操法を廃止にした市もあるのだから、操法よりも団員確保が重要なので、南あわじ市も廃止してほしい。実際の消火活動のための訓練がほぼなく、役に立たない操法の練習をして、消火活動に必要な技術、知識が身につかない。大災害の為に団員を増やすとか検討する前に、消防団員になりたがらない大きな理由の一つに操法があるのなら、その操法を廃止してから検討してほしい。操法大会が2年中止になっているが、困ったことが何一つない。新型コロナが落ち着くのは何年も先なのに、操法のこと無駄に時間とお金を使わないでほしい。今すぐに操法を廃止して、操法大会に使っていたお金を、災害用の道具、機材とか、必要なときのために貯めるとかしてほしい。操法をすることで、利益を得ている人より、はるかに多くの不利益を受けてる人がいる。若い人が減っていき、団員確保が難しくなる中で、操法を勧める理由がまったく理解できない。また、幽霊部員は退団させて、本当に必要な団員数をはっきりさせた上で、必要な団員数を確保するようにしてほしい。他の団の話ですが、活動していない幽霊部員へ報酬を渡すのはおかしい。渡す理由が分からない。もし、退団が自由なら、退団したい人が大勢いると思う。消防団員を続けたいと思うメリットを考えてほしい。そして、新しい団員が入らないと退団できないが、人口が減っているのだから、欠員になっても、ある年齢になったら退団できるようにしてほしい。また、高年齢の退団希望者は、欠員が出ても退団できるようにしてほしい。</p>
<p>このアンケートのほとんどに消防団員を否定する選択肢がわざわざ設けられていたが、実際その通りなのをわかってる？だったら早く消防団なんてものは全て解散してほしい。こんなものがあるから、田舎に住みたくないと思ってしまう。本職に任せるべき。もし自分が災害に巻き込まれたとき、何の訓練も受けてない団員に助けて欲しいとは思わない。その方が同じ地域の方で、もし命を落としてしまったら、そこではもう住めない。きちんと訓練を受けた本職に任せるべき。早く解散されることを願っている。</p>
<p>南あわじ市の今回のアンケートで初めて機能別消防団員が出てきたが、但馬地域の市では、すでに取り組んでおり、南あわじ市の一部の分団では、過疎化で新入団員の確保が現状難しいことから、高齢化に対応した機能別消防団員への切り替えによる定員確保が必要。確保には本人の確認も必要だが高齢者でもできる地域内の消火、防災活動に限定する</p>

<p>ような条件整備が必要。</p>
<p>分団に所属はしているが、何年も活動していない人や島内にいない人等が多数いるので、退団を勧めてほしい。</p>
<p>操法やって火消せない。</p>
<p>分団の約3割から4割程度の団員しか出動及び活動を行っておらず、名前だけ所属している団員や島外にいる団員は、退団して頂いて新団員との入れ替えを迅速に対応して頂きたい。3年ほど前から各分団で退団の手続き等を検討して打診したのですが、なぜか市の意向として退団できないという旨を通達された。活動していない団員や本人が退団したくても退団できない理由を明確に教えて頂きたい。</p>
<p>無駄をなくし、地域の為の活動をよりよくしてほしい。</p>
<p>賀集地区に限らず、他地区でも下の年代から入団が非常に少なく、一定年数が経ても、事情により退団したくてもできない状況がある。早期にこの問題を考えて頂き対応してほしい。</p>
<p>阿万地区も賀集地区も分団を減らして団員を減らして欲しい。若い人が減っているのに昔のままで人数確保は必然的に無理がある。方面隊ごとに考えが違ふ事は理解出来るが、ある程度市内で統一したルールを作してほしい。</p>
<p>パレード、夜警、操法大会、初出式は誰の目にも無意味なのは明らか。誰かの自己満足のために大勢の人間を駆り出すのはやめて欲しい。</p>
<p>ポンプ操法の強制参加は、いらぬ。</p>
<p>消防団の活動自体が時代遅れ。時代も大きく変化している中で消防団は昔と変わっていない。義務感で消防団に入団する時代は終わっている。また少数の熱心な団員と、多数の熱心で無い団員との温度差が大きいと感じる。見せかけだけの団員数より実際活動している団員で構成し、人と金を削減、効率化すべき。</p>
<p>消防団活動はそれぞれの地域の良い部分を生かし引き出し、地域に合ったまとまりを今以上により良くして結束して活動すれば、自然と良い方向に向かっていくものと私は考える。</p>
<p>退職の年齢を決めてほしい。</p>
<p>このアンケート結果どんな意見が多かったのか知りたい。相談窓口を作してほしい。年に1回程度このようなアンケートをしてほしい。出動しても消火活動をせず見ているだけの人がある。もっと上の人から指示が必要である。息子は入団させたくない。</p>
<p>本部運営の活動費をどこから出すのですか？南あわじ市の考えに対して憤りを感じている。本年度から分団長になりましたが、いきなりこの問題を団員たちから説明するよう言われたが、今までやってきた人が責められず、今年からする人たちが責められるのか？そういったことから消防に対する意識も失われていくと思う。今からでも筋道を付けてほしい。</p>
<p>歳をとるにしたがって家庭環境・仕事の変化により、消防活動への参加が難しいときがあ</p>

る。

消防操法への取り組みを変えるだけでも大きく違いが出てくると思う。仕事終わり週3回夜の練習が大変な負担である。

消防行事の時間短縮、南あわじ市内でのメリットを付加させる（税金の優遇など）、島内の高速道路料金半額など若者が魅力を持つ特典を付ける。